



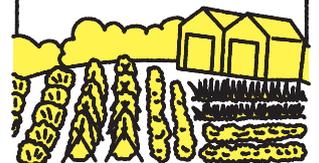
畜産界の 期待の新星



来月の
外勤日は **8月20日(土)**

みーつけた
しまねのファーマーズ
Shimane farmers
小西 富夫さん
[隠岐どうぜん地区本部]

SNSで
旬な情報を
投稿して
います





みつけた
しまねの
ファーマーズ
Shimane farmers

年間を通して様々な野菜づくりを

豊かな自然に囲まれた隠岐諸島のひとつ、西ノ島町。小西さんは長年、西ノ島町役場の職員として勤務する傍ら、家庭菜園で野菜作りを楽しんでいます。最初は3アール

ほどの面積でしたが、近所の空き家の土地管理を任せられるようになり、今では自宅周辺に数カ所、計15アールの畑を1人で管理しています。61歳から農業中心の生活となり、春は玉ねぎ、夏はズッキーニ・キュウリ、秋は春菊・ネギ、冬はあすっこ・大根など、JAの直売コーナーには年間を通して小西さんの野菜が並んでいます。

こにし 小西 とみお 富夫さん(69才)

今月は、隠岐どうぜん地区本部。西ノ島町でズッキーニをはじめとした野菜の生産に取り組みJAしまね西ノ島支店直売部会会長の小西富夫さんにお話を伺いました。



小西さんの畑



直売コーナーに並ぶ地元の野菜

地元の野菜が食べられる喜び

西ノ島町は元々、火山島であったことから平地が少ない地形が特徴で、耕作地として発展することは難しい地域です。昔は隠岐地方独自の「牧畑」と呼ばれる輪転式農法が盛んでしたが、戦後には消滅し、今では和牛の放牧繁殖以外の本格的な農業は行われていません。そうした背景からも、島に流通する野菜や米は町外から仕入れたものがほとんど。お店に並ぶ商品は輸送コストがかかるため、どうしても本土に比べ価格が高くなってしまう。家庭菜園をしている人も多く見られますが、浦郷地区など漁業が中心の集落には畑自体がない家庭もあり、また、自分



で作ることが難しくなった高齢者など、お店で購入せざるを得ない人も増えているのが現状です。

そんな中、直売コーナーには地元の人を作った野菜や、山で採れた山菜などが並び、多くの人の支えとなっています。

野菜を安価で購入できる

ということはもちろん、作り手の顔が見える安心感、旬のものを食べられる喜び、そして何より、新鮮なものを食べられること。島の人にとって、直売所の野菜は色々な意味で価値あるものとなっています。そんな直売部会の会長を長年務めている小西さんは「もっと若い人にも野菜を作ってもらって、一緒に売り場を盛り上げていけたら」と、次の世代の人たちが参加することにも期待を寄せています。

島では珍しかったズッキーニ

小西さんが3年前から栽培を始めたズッキーニ。それまでは島でほとんど流通しない珍しい野菜だっ



たそう。「数年前に一度、島の店で見かけた時に1本300円で販売されていた」という驚きからも、育てることに益々興味を持ったと言います。「最近テレビの料理番組でも多く取り上げられるようになり、昨年は多くの方が買ってくれました」と手応えを感じている様子。そうは言っても、いまだに島の人からは「どうやって食べるの?」「食べ方を教えてほしい」と聞かれることが多く、小西さんはおすすめの食べ方のひとつである「ニンニクと野菜のオリブオイル炒め」や「天ぷら」をはじめ、どんな調理法でも美味しく食べられることを伝えているそうです。現在でも島外から仕入れられることは少ないズッキーニですが、こうして島の人たちが簡単に手に入れられるのも、小西さんが一生懸命新しい品目の栽培に取り組んでいるからこそ。直売所に出荷した野菜を「買ったよ」と声をかけられることも多くなり、小西さんにとっては新たな挑戦への原動力となっているそうです。



可愛く実をつけたズッキーニ。ここから更に成長します

かわいい孫のためにも

休日になると同じ町内に住むお孫さんが遊びに来て、畑にできたものを一緒に収穫することも多いとのこと。この間まではイチゴを摘むことができ、お孫さんはそれをとても楽しみにしていたそうです。「今年は天気が良かったので、ザルいっぱい採れ

ることもありました」と笑顔を見せます。これからの季節はミニトマトの収穫が始まるので、かわいいお孫さんの喜ぶ姿を見るためにも、より一層畑の管理に勤しんでいます。



お孫さんが楽しみにしていたイチゴ摘み

新しいものに挑戦し続けたい

今まで作ったことのない新しい品目にも、次々とチャレンジしている小西さん。種や苗を島外から取り寄せ、育ててみては直売所に出荷しています。今年には白ゴーヤと白ナスの栽培を始めたそう。で、「毎年1年生だけど、おもしろそうなものを探しながら少しずつやっています」と話します。低い位置での草取りや、夏の暑い時期の作業は体がきつく感じることもあり



初挑戦の白ゴーヤ。生育は順調とのこと

ますが、本やインターネット、最近ではYouTubeで育て方を研究し、年々品質の良いものが収穫できるよう努力も欠かしません。「今後、島の人たちに新鮮な野菜を安定的に、目新しいものを安く供給できるように」と、意欲的に野菜作りに取り組んでいる小西さんでした。



隠岐には猿もイノシシも居ないそうですが、カラスによる被害が。ネットで対策しています



宅地が畑になっていることから近くには井戸が。井戸から水を汲んでは水やり...と何往復もして野菜に水をあげているそうです

小西さんの野菜

グリーンストア西ノ島に年間を通して野菜を出荷する小西さん。7月からは店頭にもトマト、ピーマン、ししとうが並ぶ予定です😊

また、今年栽培を始めた白ゴーヤ、白ナスは8月初めを予定しているのだとか…🌟行かれたかたはぜひcheckしてくださいね👉





畜産界の 期待の新星

皆さん“和牛のオリンピック🐮”があることをご存じですか？全国和牛能力共進会（通称「全共」）と言い、全国の優秀な和牛を一堂に集め、改良の成果やその優秀性を競う大会が“5年に一度”開催されます🌟 2022年はその5年に一度の年にあたり、今、畜産界は盛り上がりを見せています🔥 「しまねびより」では、皆さんと一緒に盛り上がりを共有したい!! という思いから、7・9月号は全共について特集します😊

第一弾となる今回は、今大会から新設された、高校や農業大学校が参加する「特別区」への出場に向け、日々頑張っている若い担い手の特集です🌟

「特別区」の県代表は、7月13日に開催される県代表牛最終選抜会で決定!! その代表1校の座を目指し、奮闘する県内3校の取り組みについてご紹介します!!



全共についてモォ～🐮 少しでもご紹介

第12回全国和牛能力共進会は、「和牛新時代 地域かがやく和牛力」をテーマに、10月6日から鹿児島県で開催されます。41の道府県が参加し、約460頭の牛が鹿児島県に集結する全国規模の和牛の品評会です!!

全国の和牛関係者にとって、この大会で優秀な成績を収めることは、和牛ブランドの向上につながることから、最も重要な大会と位置付けられています。



第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会
マスコットキャラクターかごうしまマ



審査は

-  種牛（雄牛・雌牛）の姿や体形の良さなど、改良の成果を月齢別に審査する「**種牛の部**」
-  和牛肉の美味しさなどの肉質を審査する「**肉牛の部**」
-  和牛を飼育する高校・農業大学校からの出品を対象とした「**高校及び農業大学校の部**」があります。



島根県立農林大学校



先輩の想いを受け継ぎ、 気合を入れて頑張ります!!

島根県立農林大学校では、全共に向け取り組むメンバーだけでなく、農業科肉用牛専攻の1・2年生の生徒全員が一丸となり、県代表の座を目指して取り組んでいます。4年前からプロジェクトが発足され、卒業された先輩の熱い想いを受け継ぎ、いざ選抜会に挑みます！今回は中心メンバーとなる2年生の大庭悠真さん(19)と多々納勇斗さん(19)にお話を伺いました😊



校庭での調教練習。
専用のかけ声が響きます！



運動後のブラッシング♪
頑張った牛への癒し時間としてと
欠かせない作業です

1. 全共に向けてどんなことに取り組んできましたか？

4年前から全共への出品を目標に取り組んできました。候補牛である「みる」「おとは」「いとさつき」の調教などを始めたのは1歳になった頃からです。校庭での調教や引き運動はできるだけ毎日行ってきました。また、朝と夕方の農場当番が決まっています。飼料をあげながらコンディションを確認しています。土日夏休みも関係なく、366日牛と向き合っています。毎日の状態を記録し、先生と生徒全員で共有するなど、連携して日々の管理を徹底してきました。

2. 独自の取り組みを教えてください。

地域の生産者からアドバイスを受けた調教技術や飼育管理、手入れ技術などを1冊にまとめた「農林大調教の手引き」を先輩方が作成され、私たちや後輩へも技術のバトンを引き継いでいます。また、追加哺乳技術による哺育・育成管理にも取り組んでいます。母乳だけでは足りない判断した際、私たちが追加哺乳し、成牛になってからもよく食べることができるよう、子牛の時から丈夫な胃袋づくりに繋げていきます。

3. 特に頑張ったことは何ですか？

調教や引き運動、終わった後のブラッシングなどは、放課後も残って取り組んできました。また、3頭の候補牛を飼養していますが、それぞれ給与量と残飼量をチェックし、餌の管理を徹底して行いました。

4. 嬉しかったこと、やりがいを感じたことは何ですか？

他の専攻の先生に「今日も頑張っているね!」「熱い中ご苦労様」など声を掛けてもらった時、嬉しいし、やる気にもつながります。また調教などの練習で、候補牛が綱の指示でうまく動くようになり、先生方と共有できた時にはとてもやりがいを感じました。

5. 県代表牛最終選抜会に向けた意気込みをお願いします!!

先生、先輩、生徒みんなで一致団結して取り組んでいるので、みんなの想いを受け継ぎ大学生だからこそできることをやりたいと思っています。県で終るのではなく、鹿児島でもいい成績が残せるよう、気合を入れて頑張ります!!



畜産農家・牛の魅力
についても
教えていただきました



大庭さん😊

早産で亡くなってしまった子牛や母牛も見してきました。“いのち”を身近に感じる事ができ、その大切さを改めて知ることができる仕事です。

多々納さん😊

牛と日々向き合っていると、本当に色々なことが起きます。牛は話すことはできないけれど、日々起こることの原因を自分たちで理解し解決していく中で、周りを見る力や、コミュニケーション能力がついたと感じます。



島根県立出雲農林高校



牛への愛情はどこにも負けません！ 会場でたくさんの方に見てほしいです

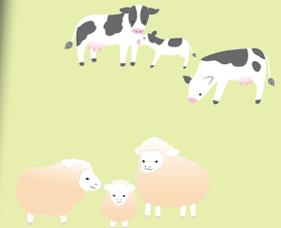
出雲農林高等学校では、動物科学科、産業動物コースで大動物を専攻する3年生5人組が中心となり、全共の県代表の座を目指し取り組んでいます。時間があれば一緒に牛と添い寝するなど「牛への愛情はどこよりも強いです!!」と笑顔が絶えないメンバーの皆さん。出雲農林高校の代表として、一致団結し選抜会に挑みます！今回は中心メンバーの落合七海さん（17）、岡田百夏さん（17）、竹下楓恋さん（17）、小中桃夏さん（17）、橋本寧々さん（17）にお話を伺いました😊



調教中と
笑顔が絶えません😊



丁寧にブラッシングを
行います🌟
普段は4人では
行わないそうですが、
この日は特別に!



1. 全共に向けてどんなことに取り組んでできましたか？

調教、洗体やブラッシング、蹄掃除などを毎日行い、床替えもこまめにしています。毎日牛の当番があり、1~3年生で朝夕の餌やりや掃除をしていますが、候補牛の「すずらん」については土日でも5人で交代しながら飼育してきました。

2. 独自の取り組みを教えてください。

強化哺育を目的に、生まれてすぐ人の手でミルクをあげる人工哺乳乳に取り組んでいます。発育を見極めながらミルクの量を自分たちで管理しています。「すずらん」も人工哺乳乳で育ちました。また、和牛甲子園に肥育部門で出場しています。いい雌牛を残し、生まれた子牛を肥育する…を繰り返しながら、自分たちで改良を進めています。また乳牛も飼養しているので、搾乳なども行っていて、牛についてより深く学んでいます。

3. 特に頑張ったことは何ですか？

「すずらん」と同じ場所で育てている牛が病気になってしまったとき、病気がうつらない様に工夫したことです。床替えを頻繁にしたり、ブラッシングの道具を変えたりなど対策し、なんとか乗り越えることができました。

4. 嬉しかったこと、やりがいを感じたことは何ですか？

最初は発育が不安定だったので心配でしたが、定期的に巡回指導をしてもらうなかで、発育が良いと褒めてもらえることが多くなったので嬉しかったです。「すずらん」を調教していき、旋回など最初はできなかったことができるようになった時も嬉しかったです。

5. 県代表牛最終選抜会に向けた意気込みをお願いします!!

「すずらん」は顔はもちろん、人懐っこさも可愛くて、横から見た体上線が美しいので、ぜひ会場で多くの方に見てほしいです!! クラスの友達からも「絶対に鹿児島行ってよ!」とエールをもらうので、出雲農林高校の代表として頑張ります!!



畜産農家・牛の魅力
についても
教えていただきました

一つはやりがいがある仕事ということです。また、とにかく牛は可愛くて、性格も穏やかで…大好きです!! 大変なこともあります、牛と触れ合うことで自分たちが癒されています。

島根県立矢上高校

地域の方との関わりを 多くの人に伝えたい!!!



島根県立矢上高等学校は、産業技術科の3年生が中心となり、全共の県代表の座を目指し取り組んでいます。候補牛である「みつゆり」は、1年生の時に生まれ、みんなで協力し育ててきました。“地域を担う畜産人を育てる”という、地域全体が同じ目標をもち、全共への出場に向けても地域が一体となり取り組んでいます。多くの人の想いを胸に、いざ選抜会に挑みます!今回は3年生の皆さんにお話を伺い、中心メンバーである三浦宗馬さん(17)、松村璃邑さん(17)、高田優希奈さん(17)に実際に普段の取り組みをみせていただきました😊



顔まわりも丁寧に拭いてあげます🌟



真剣に調教練習中!

ブラッシングを体験させてもらいました!
想像以上の力仕事🌟
またこの日は暑さが厳しい日…
体力だけでなく、
気温との戦いでもあることを
身をもって感じました。



1. 全共に向けてどんなことに取り組んでできましたか?

「みつゆり」は体上線が弱かったので、つなぎ運動などをし、強くするため取り組んでできました。調教練習でも、地域の調教師の方に分からないことを聞くなどして解決してきました。また、放課後にもつなぎ運動や調教練習、合間をみつけて発表の練習など、授業とプラスで練習してきました。

2. 独自の取り組みを教えてください。

邑南町、JALまね島根おおち地区本部、西部農林水産振興センター、地元農家、矢上高校とで石見和牛プロジェクトを創設していて、人材育成と地域振興につなげるため一体となり取り組んでいます。「みつゆり」の母牛「みつひら」は、第11回全国和牛能力共進会高等登録群の県代表候補牛に挙げられたとても優秀な繁殖雌牛です。しかし、飼育農家の方が体調を崩され、飼育を続けるのが困難な状況となりました。「優秀な繁殖雌牛であり、地元に残したい」という農家や地域の方々の熱い思いを受け、矢上高校で「みつひら」を飼育することにしました。全共のテーマである「和牛新時代 地域かがやく和牛力」のテーマにそった牛を育てるため、地域との連携を強みに取り組んでいます。また、地元の小学生に牛のブラッシング体験をしてもらったり、自分たちが牛について発表したりと牛の魅力についても伝えています。

3. 特に頑張ったことは何ですか?

体上線の緩さを克服するため、つなぎ運動や引き運動などをして、とにかく体上線を強くみせられるよう、トレーニングしました。どう工夫をしたらいいかも周りの方にいい方法を聞いて取り組みました。

4. 嬉しかったこと、やりがいを感じたことは何ですか?

調教など、なかなか最初はうまくいかないことも多かったですが、だんだんと体上線も強くなり、調教でも言うことをきいてくれるようになって、牛との距離も近くなりました。地域の方から「良くなってきたね」と言ってもらえたときは嬉しかったし、頑張ってきたかきがあったなと思いました。

5. 県代表牛最終選抜会に向けた意気込みをお願いします!!

体上線を強く見せたり、調教したりなど今まで頑張ってきました。地域の方との関わりの強さを多くの人に伝えたいです!!

畜産農家・牛の魅力
についても
教えていただきました

世話してきた牛から赤ちゃんが生まれた時、畜産に関わっていて良かったなと思います。
みんなで名前を考えられるのも楽しみの一つです!
牛は可愛い!育てていくと愛着がわきます😊また、牛は言葉は話せないけど、私たちが世話をした分だけ反応を返してくれるのが嬉しいです。



飼料・肥料価格高騰の影響を受ける組合員の皆さまへ緊急支援のお知らせ

令和4年6月

J Aしまねでは、農業資材の高騰による農業経営への影響を緩和すること、また消費者の生活に欠かせない農畜産物の供給（生産）基盤を維持することを目的として、当J Aで飼料、肥料を購入いただいた生産者を対象に、以下のとおり、緊急対策を実施することとしました。

J Aしまねは引き続き、国・県への要請活動も含め、あらゆる方法で生産者の皆さまを支援してまいります。

令和4年度J Aしまね飼料・肥料高騰対策の内容

対象となる方	J Aしまねで飼料・肥料をご購入の生産者（J A内部取引先、行政機関は除きます）
対象期間	令和3年度第4四半期～令和4年度第4四半期（計15か月間）
支援額	対象期間中の飼料購入額の1.0%および肥料購入額の2.0%を基準とし支援します。 支援総額は1億5,000万円程度となる見込みです。
お支払方法	支援対象期間を3期に分け購入額を確定後、お取引先毎に振込処理を行います。 【第1期】令和3年度第4四半期（1～3月）～令和4年度第1四半期（4～6月） 振込予定日：令和4年7月27日 【第2期】令和4年度第2四半期（7～9月）～令和4年度第3四半期（10～12月） 振込予定日：令和5年1月27日 【第3期】令和4年度第4四半期（1～3月） 振込予定日：令和5年4月27日

【この件に関するお問い合わせ先】

（取組み全般に関すること） J Aしまね 改革推進室 TEL：0852-67-7716
（飼料（エサ）に関すること） 畜産部 TEL：0853-25-8590
（肥料に関すること） 経済部 TEL：0853-25-8745



令和4年度新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰等対策資金

新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰等の影響により経営の維持安定が困難となっている農業者の皆さまを支援します。

資金使途	農業経営の維持に必要な運転資金
対象者	下記の影響を受けている方 ①新型コロナウイルス感染症 ②原油価格・物価高騰等
融資限度額等	【①②両方の影響を受けている方】 年間経営費の18/12又は粗収益の18/12のいずれか低い額 （簿記記帳を行っていない場合は1,800万円） 【①②いずれか一方のみの影響を受けている方】 年間経営費の12/12又は粗収益の12/12のいずれか低い額 （簿記記帳を行っていない場合は1,200万円） ※新型コロナウイルス感染症及び原油価格・物価高騰等の農業経営への年間の影響額 又は影響見込額を対象とします ※島根県農業信用基金協会による原則無担保・無保証人の限度額 個人2,500万円、法人5,000万円（基金協会の特例により増額） ※なお、ご融資額については、融資審査後に決定いたします
融資利率	年0.10%（当初5年間はJ Aしまねの支援により無利子です）
信用保証料	年0.15% ※日本公庫資金（農業分野）の借入者は、島根県の保証料補給により不要。
償還期間	15年以内（うち据置期間3年以内）
取扱期間	令和4年6月22日から令和5年3月31日（融資実行分）まで

※本資金の詳しい条件などについては最寄りのJ A支店までお問い合わせください。



JALまねでは、SDGsの取組みの一環として、ジェンダー平等に取組み、職員一人ひとりが、働きやすい服装で仕事の効率アップ、働きやすい職場環境の整備を目指し、私服勤務試行期間を実施することとしました。組合員・利用者のみなさまにおかれましては、本期間につきましてご理解いただきますよう、お願いいたします。



働きやすい
職場環境をめざして、
私服勤務試行期間を
実施します。

期間 令和4年

8月1日(月) > 9月30日(金) までの 2ヵ月間

実施店舗 全事業所、ただし、部署にて
固有の制服等がある部署
(典礼、小売店舗等)は除きます。

私服勤務試行期間における
服装・身だしなみの基本的な考え方

すべての組合員・利用者の方に好感を持っていただけるよう、第一印象を決める身だしなみを整えることは、重要な役割と考え、信頼と安心につながる身だしなみで業務に従事します。本期間においては、職員一人ひとりがこれまで以上に身だしなみを整えるよう心がけます。



Q 「適格請求書（インボイス）」制度導入に伴う農業者の留意点を教えてください。

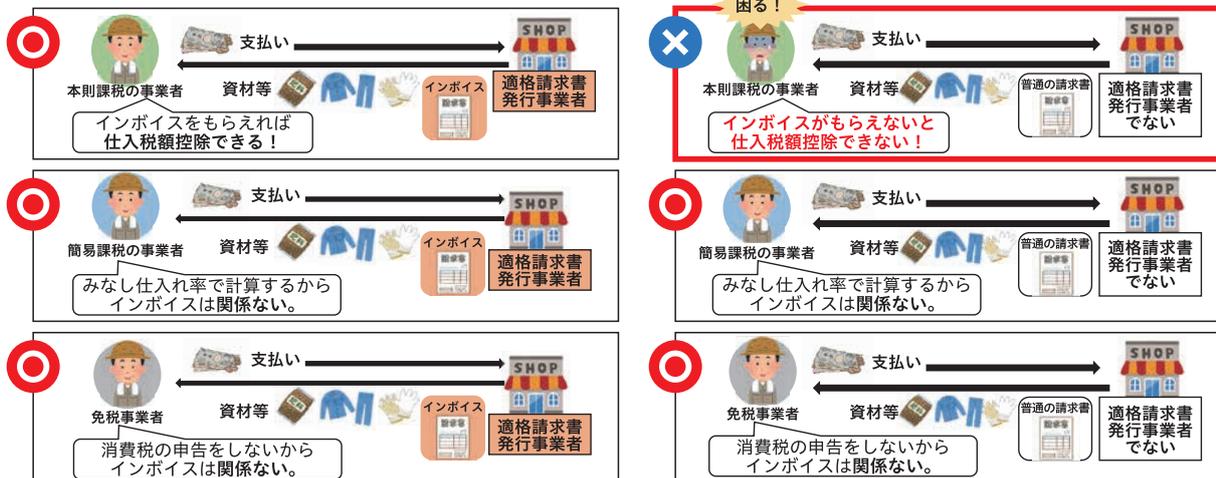
A 「適格請求書（インボイス）」制度の導入により、農業者が資材の購入等で相手先によって仕入税額控除が出来ない場合があります。「適格請求書（インボイス）」の発行事業者からの購入にて「仕入税額控除」が可能となります。「適格請求書（インボイス）」の発行事業者以外からの購入は「仕入税額控除」が出来なくなりますので、本則課税の事業者の方は資材等の購入先の確認をお願いします。

インボイス制度導入に伴う農業者の留意点



まずは、農業を営む上での基本的な取引についての影響を考えてみましょう。

資材の購入等、農業者が「買い手」の立場の場合





topics
1

「出雲やさい新話ファーム」を丸山県知事が視察！



JAしまねの子会社、JAいずもアグリ開発株式会社が運営する出雲市の高度環境制御栽培施設「出雲やさい新話ファーム」に6月19日、丸山達也知事が視察に訪れました。石川寿樹組合長や同社の担当者らが、温度、光、CO₂、培養液が自動で管理された育苗室を案内し、「サラノバレタス」が育つ仕組みなどを説明しました。

「出雲やさい新話ファーム」は2019年2月に稼働。環境条件をコンピューター制御し、92アールの16連棟温室ハウスでリーフレタス「サラノバレタス」を周年安定生産しています。

視察では、周年生産型の新たな農業経営モデルによる新たな担い手の創出や、作業を数値化・マニュアル化することで経営継続の課題解決に繋がると説明。石川組合長は「このような新しい農業があることを知っていただきたい。通年出荷ができるので特に若い方などで興味がある人に今後勧めていきたい」と話しました。

「出雲やさい新話ファーム」は3期目の昨年度に黒字化。4期目を迎える今年度は販売金額1億9,800万円（税込）、年間生産量170万玉（6,000株/日）を計画し、さらなる増収を目指しています。



栽培ベッドの下に流れる培養液について丸山知事（左から2人目）に説明するJAいずもアグリ開発株式会社の柳楽俊介統括マネージャー（左）

topics
2

JA運営に反映を 総代表者等との意見交換会を開催



JAしまねは6月6日、ウェブ形式で総代表者等との意見交換会を開きました。各地区本部の総代表者ら25人が参加し、営農経済や信用共済の事業改革などJA役員と活発に意見を交わしました。

意見交換会では、総代表者らから「飼料・肥料等生産資材価格高騰に対して、JAとしてどのような支援を考えているか」「『地域になくってはならない存在』となるため、これまで以上に支援活動を行ってほしい」「米粉を利用する製造業が増えているが、JAとして米粉用の水稻は考えているのか」など、さまざまな意見をいただきました。

また、JA役員が令和3年度事業報告や令和4年度事業計画、第3次農業戦略実践3カ年営農計画、信用共済事業・営農経済事業改革の進捗状況などを説明。石川寿樹組合長は「着実に実践していくには経営基盤強化が必要。これまでに取り組んできた各事業改革をさらに進めていきたい」と力を込めました。

当JAでは、組合員の意見や要望を聞き、JAの事業運営に反映させることを目的に、年に2回意見交換会を開催しています。



意見に答える石川組合長



ウェブ形式で開催

topics
3

島根中酪株式会社「出雲のむヨーグルト」を新たに販売開始！



島根中酪株式会社はこの度、宅配を中心に販売してきた「飲むヨーグルト」の商品名とパッケージを一新しました。新たに「出雲のむヨーグルト」の商品名のもと、パッケージにはオリジナルキャラクターを描き、販売を開始しました。

同商品は安定剤・香料不使用、また県産の生乳を89.5%使用しているため、濃厚でコクがあり、舌触りもなめらかな“生乳の味を楽しめる”のが特徴です。



一新した出雲のむヨーグルト



PRする角田部長

同商品が好きだという闘病中のお子さまがいるご家族の方が“取り扱っている店が少なく、探すのに苦労した”ということを知り、多くのお店で取り扱ってもらえるようにとリニューアルを決意。キャッチフレーズの「ちゅーっと、シアワセ！」には、どんな時も「ちゅーっ」と飲んで「シアワセ！」を感じてほしいとの想いが込められています。また、見た目からもハッピーになってもらおうと、新たに誕生した元気いっぱいのおんなのこ「ちゅーちゃん」と、ミルクのようせい「らくちゃん」のオリジナルキャラクターをパッケージに描きました。

営業部部長の角田祐子さんは「多くの方に飲んでいただきたいとリニューアルした。今後はオリジナルキャラクターを活用した商品を増やしていきたい」と話しました。

令和4年度島根県乾椎茸品評会を開催！

ＪＡしまねは6月7日、ＪＡ営農経済本店で令和4年度島根県乾椎茸品評会を開きました。県内から86点が出品され、審査の結果、松田美知子さん（島根おおち地区本部）の「どんこ」が最高位となる島根県知事賞を受賞しました。

今年産は、冬にかけての雪や春先の雨量が少なかった影響で、椎茸の発生量が少なかったため、良品や規格を揃えるのが難しい状況でしたが、今回は生産技術の高い出品物が揃いました。

品評会では、審査員4人が傘の形状や大きさが規格に照らして揃っているかを審査。松田さんの「どんこ」について、審査委員長を務めた県農林水産部林業課の林真弘統括林業普及員は「大きさが揃っていて、傘のひらきや縁の巻き込みが均一だった」と講評しました。

6月16日には授与式を開催し、受賞者へ表彰状を手渡しました。松田さんは「夫と二人三脚で取り組んできた。頑張ったことへのご褒美をいただき嬉しい」と喜びを話しました。上位6点は、8月に開催予定の全国品評会へ出品されます。

その他の受賞は次のとおりです。

- ・日本椎茸農業協同組合連合会会長賞
＝（株）藤若農産（いわみ中央地区本部）「こうこ」
- ・全農麦類農産部長賞
＝奥本一徳（いわみ中央地区本部）「こうしん」
- ・（一財）日本きのこセンター理事長賞
＝奥本一徳（いわみ中央地区本部）「茶花どんこ」
- ・森産業株式会社社長賞
＝小笹忠重（いわみ中央地区本部）「どんこ」
- ・島根県農業協同組合長賞
＝奥本一徳（いわみ中央地区本部）「どんこ」



受賞を喜ぶ松田さん（左から2番目）ら

令和4年度島根緑茶品評会を開催！

ＪＡしまねと島根県茶業振興協会は6月17日、ＪＡ営農経済本店で、令和4年度島根緑茶品評会を開きました。県内4組合から7点の出品があり、審査の結果、出雲市の株式会社出雲精茶の「やぶきた」が最高位となる農林水産省中国四国農政局長賞を受賞しました。

今年産は、1月末から2月末までの気温が低めだったことから、萌芽が平年並みより遅く推移しましたが、昨年のような晩霜被害もなく順調に生育しました。

品評会では審査員8人が、形状や色沢をみる外観、熱湯を注いだ茶葉の香りをみる香気、お茶を煎れた時の色をみる水色、煎れた茶の味わいをみる滋味の4項目を審査。審査長を務めた県農業技術センターの瀬尾光広所長は出雲精茶の「やぶきた」について「つや、色味が良く、非常に丁寧に仕上げられていた」と講評しました。

その他の受賞は次のとおりです。

- ・島根県知事賞
＝ＪＡしまね大東製茶加工所（雲南市）「やぶきた」
- ・全国茶生産団体連合会長賞
＝住江茶業組合（江津市）「やぶきた」
- ・島根県農業協同組合長賞
＝有限会社宝箱（松江市）「やぶきた」
- ・島根県茶業振興協会長賞
＝株式会社出雲精茶（出雲市）「さえみどり」



外観を審査する審査員

お知らせ

次回8月号は総代会特集！

6月26日(日)に開催した第8回通常総代会の様子は、8月号の特集面にてご紹介いたします。

本来であれば7月号にて皆さまにお繋ぎすべきところですが、作成スケジュールの都合上8月号への掲載とさせていただきます。

なお、総代会情報は、先行して当ＪＡのホームページへ掲載していますので、ぜひご覧ください。



イベントのお知らせ

ＪＡしまねは、下記の日程で花のイベント「しまね夏の花展示会」を開催します。皆さまのご来場をお待ちしています！！

開催期間：7月23日(土)～24日(日)
場 所：ゆめタウン出雲 本館1階 エクセル前特設会場（出雲市大塚町650-1）
問い合わせ：ＪＡしまね米穀園芸部園芸販売課（TEL）0853-25-8694



①私たちが選んだ花賞～来場者投票～

投票いただいた方には抽選でお花のギフト券が当たるかも！？／
今年は来場された皆様に審査いただく「来場者投票」を実施します。
会場に展示された花の中から「これが一番！」と思ったお気に入りの花に投票してください🌻

【投票時間】

7月23日(土) 9：30～17：00 7月24日(日) 9：30～12：00

★特典★

投票していただいた皆様に花のプレゼントを用意しています🌻
※無くなり次第終了（両日合わせて先着300名様を予定しておりますのでご了承ください）

②親子フラワーアレンジメント体験教室

来場した親子先着50名様を対象に実施します。
7月23日(土) 10：00～16：00

③お花の即売会

展示された花を特別価格で販売します！
7月24日(日) 12：00～15：00

注）新型コロナウイルス感染拡大状況により内容を大きく変更する可能性がありますのでご了承ください。



想いをひとつに✿ しまねの女性部!

くにびき女性部

令和4年度は、JA女性組織3か年計画「JA女性 想いをひとつに かなえよう」の実践初年度です。

つながろう

まもろう

かがわろう

の3つの具体的目標を掲げ活動します。

つながろう

(仲間と・地域と・他組織と・次代と)

JAしまねくにびき女性部は、10の支部、11のグループに加え、令和3年4月には新たにフレッシュミズ部会を立ち上げ、総勢716名で活動しています。

令和3年度はコロナ禍で思うように活動ができない中、感染対策を行いながら「佐太神社参拝」「女性部健診」等の活動を行いました。また「JAしまねくにびき女性部研修会」を開催し、『家の光』についての研修や朗読会、部員による記事活用体験発表を行いました。研修会ではフリーアナウンサーとして活躍されている「おがっち」こと小片悦子氏の特別講演も行い、会場は笑顔であふれていました。

令和4年度は「こんにやく作り」「味噌作り」等の加工体験や、「松江城」「菅田庵」を訪ね、地域の歴史を学ぶ活動を計画しています。これからも仲間とのつながりを大切にし、笑顔あふれる活動を行っていきます。



「おがっち」こと小片悦子さんの講演の様子



令和3年4月24日 フレッシュミズ部会設立総会



佐太神社参拝



一所懸命青年連盟

JALしまね出雲青年連盟

JA YOUTH

つるみ
鶴見

あきひろ
彰浩さん

地産地消に取り組み、
農業を通して、
地域に
貢献していきたい



JAしまね出雲青年連盟（以下、農青連）に加入している鶴見彰浩さん（41）。出雲市高松町で年間約2ヘクタールの農地でブロッコリーや白ねぎ、キャベツ、枝豆、キュウリなど多くの野菜を栽培しています。今年で就農9年目を迎え、毎年様々な野菜栽培に挑戦し、自分に合った品目や世間のニーズに合った品目を模索しています。

農業を通して「地道に続けていけば道は開ける」ということを一番感じたという鶴見さん。野菜が思うように育たなかったり、ベテランの先輩農家から厳しいことを言われたりと決して順風満帆ではなかった中、それでも地道に続けてきたことで「今ではやりがいを感じて野菜栽培を続けられている」と話します。

現在は出雲支部の役員を務め、食農教育や地元の農業祭りへ積極的に参加するなど活動を広げている鶴見さん。農青連の盟友が生き生きと生活している姿を見せることで、農業のイメージは大きく変わると考えています。

「まだまだ農家として経験は浅いですが、これからも地道に農業経営を続け、新規就農を考えている人へ必ず道は開けるということを示していきたい」と意気込みを語りました。未来の新規就農者の『道標』の一つになれるように、これからも地道な努力は続きます。



家庭菜園

タアサイ

園芸研究家 成松 次郎

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

霜に当たるとおいしさが増す

タアサイはツケナの仲間、中国語で「場菜」と書きます。「場」は「つぶれる」という意味です。葉は平たく杯状に広がっており、さじ状で縮れがあり、日本の野菜では「キサラギナ」に似ています。チンゲンサイと共に、代表的な中国野菜です。

品種

品種分化が少なく「緑彩二号」(サカタのタネ)、「タアサイ」(タキイ種苗など)として販売があります。

畑の準備

種まきの2週間前までに1平方m当たり苦土石灰100gをまき、酸度を矯正しておきます。1週間前までに堆肥1kgと化成肥料(NPK各成分10%)100gを施し、土とよく混ぜておきます(図1)。次に、幅1m、高さ5cm程度の栽培床を作ります。

種まき

春まきでは条間15cm、株間15cm、秋まきで大株にするには条間20cm、株間20cmに1カ所5、6粒の点まきをします(図2)。発芽まで土が乾かない程度

に灌水(かんすい)し、発芽後は土が乾いたらたっぷり与えます。なお、ポリマルチを使うと、生育の促進に加え、土が葉の間に入るのを防ぐ効果があります。種まき後は防虫ネットでトンネルを作り、害虫から保護します。また、べたがけは発芽促進と害虫の防止になるため、1カ月程度被覆するのも良いでしょう。

間引き

1回目は発芽後、込み合っている株を除き、2回目は本葉2、3枚の頃に2本、3回目は本葉5、6枚の頃に1本にします(図3)。

追肥

大株に育てるには、最後の間引きの半月後に化成肥料を畝間にばらまき、軽く土寄せします(図4)。

病虫害防除

アブラムシやアオムシ、ヨトウムシなどが発生します。アブラムシには粘着くん液剤など、アオムシ、ヨトウムシにはトアロー水和剤CTなどを使用します。長雨のときは、べと病や白さび病が発生しやすいので、株間を少し広めに取ります。

収穫

春まきでは株が立性になり、草丈25cmくらい、秋まきでは、葉は大きく広がり開張性になり、上から見て直径20cmくらいから収穫を始めます(図5)。寒い時期になるとおいしさが増してきます。収穫後は広がっている葉を内側につぶめてひもで縛ると扱いやすくなります。

図1 畑の準備



図2 種まき(秋まき)

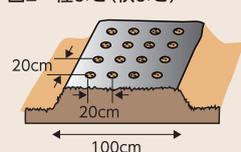


図3 間引き

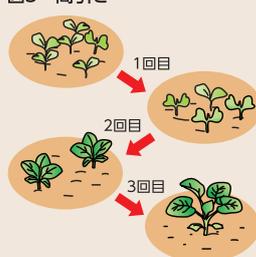
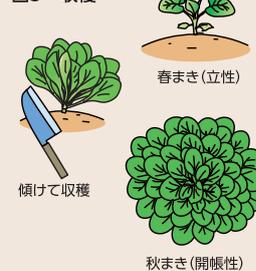


図4 追肥



図5 収穫



組合員からの情報提供窓口について

当組合の監事は、経営の健全な発展に資するため、農協法(法第35条の5)および農協法施行規則(第81条)に基づき、理事の職務の適正な遂行を阻害する行為に関する情報(組合経営に関する事象に限る)の提供を受けています。

当組合理事の組合経営に関する気になる行為について、封書またはEメールにて下記宛に連絡くださいますようお願いいたします。

島根県農業協同組合 監事会

連絡先: 住 所 〒690-0887 松江市殿町19番地1
Eメールアドレス kanji.hon@ja-shimane.gr.jp
部 署 名 監査部
受 付 監 事 常勤監事

※当組合の業務に関する一般的な苦情については、担当部署または支店で受付けていますのでご利用ください。
※ご厚意による情報提供であっても、誹謗・中傷に類似する内容のものは受付いたしかねますので、予めご了承ください。

【協議事項】

- ①令和4年7月1日付け本店の機構改革の実施について
- ②東・中部 広域米倉庫の新設について
- ③第3次農業戦略実践3カ年営農計画について
- ④令和4年度補助事業の実施について
- ⑤農業振興支援事業要項の改正について
- ⑥令和3年産島根米買取価格の設定について
- ⑦産直事業におけるインボイス対応について
- ⑧JAしまね肥育センターの今後の方向について
- ⑨現金取扱(硬貨受払・両替)手数料の改定について
- ⑩令和3年度決算の承認について
- ⑪経営基盤強化積立金規程の一部改正について
- ⑫第8回通常総代会への附議議案について
- ⑬令和4年度業績還元額の取扱いについて
- ⑭通常総代会にかかる「総代会参考書類」および「議決権行使書」の取り扱いについて
- ⑮系統団体および関連団体等への役員就任について
- ⑯地区本部運営委員会運営規程の一部改正について
- ⑰組合員弔事および見舞金規程の一部改正について
- ⑱役員増資運動要項の設定について
- ⑲「特定非営利活動法人フードバンクしまねあったか元気便」の設立および加入について
- ⑳「協同組合YADDO知夫里島」への加入について
- ㉑役員報酬総額等の設定について
- ㉒退任役員に対する退職慰労金の支給について
- ㉓人材育成基本方針の策定および非正規職員の人事制度統一に向けたコンサルタントの導入について

令和3年度事業報告と 令和4年度事業方針について

J Aしまね出雲地区本部の令和3年度事業報告と令和4年度事業方針について、組合員のみなさまへご報告致します。本来であれば7月開催の地区別組合員大会にてご報告するところですが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、会場を減らして開催しておりますので、本誌へも掲載し組合員のみなさまへご案内させていただきます。

出雲地区本部 令和3年度事業報告

出雲地区本部では、「JA自己改革」で掲げる「農業者の所得増大」、「地域の活性化」の3つの基本目標を不断の取り組みとし、組合員から信頼され必要とされる組織を目指し事業運営を行いました。

農業関連では更なる農畜産物の生産振興及び多様な農業者の育成・確保を推進するため、国・県・市の補助事業活用による農業者支援や今後普及が期待されるスマート農業技術の実証に取り組んだ他、7月に発生した豪雨災害で被災した農地の復旧支援を行い農業基盤の維持に努めました。

また、出雲市へカーブミラーやポールコーンの贈呈、コロナ禍により困窮する学生や子ども食堂への支援米贈呈、農業者・女性部健診の実施など地域貢献活動にも積極的に取り組みました。

コロナ禍に伴う来店者減少

や多様化するニーズに 대응するため、ラピタ公式アプリやSSLライン会員募集、JA共済アプリやJAバンクアプリの機能拡充等、利用者へのチラシやキャンペーン情報の発信、クーポン付与など、新たな生活様式に向けた非対面ツールの開発と導入を行い、組合員サービスの向上に努めました。

令和3年度の業績還元は、新たに組合員からの要望が多かった支店内ATMの硬貨対応への更新や、前年に続き応募



キャンペーンの実施をはじめ、生産資材の正組合員感謝セール、ラピタでのポイント5倍デーやガソリン値引券の配布等、組合員・利用者へ約3,900万円を還元しました。

〇営農指導事業

島根県の新型コロナウイルス感染症対策農業収益向上環境整備対策事業を活用したアスパラ選別機導入やハウス等整備事業を活用したぶどうハウス（2棟）の導入支援に取り組みました。また、島根県産地創生事業を活用した菌床しいたけハウス（3棟）の導入支援を行いました。

消費者からの農産物への安全・安心を求める気運の高まりにより、GAPを活用した「安全・安心な農産物づくり」の一環として、現在6組織が「美味しまね」認証を取得しております。令和3年度は農産部会の田もち会、稲作研究会の会員が個人認証取得に向けた研修会を開催しました。

米穀では、倉庫大口奨励やカントリー利用奨励などの集



荷対策を実施し、米集荷拡大に取り組み一方、カントリーエレベーター事業の持続可能な運営を行うため利用料金の改定を実施しました。

畜産では、各種補助事業を活用し和牛、乳用牛の増頭に取り組みました。

○購買事業

生産購買事業では、県下統一品目（水稲…肥料5品目・農薬15品目、園芸…肥料1品目、汎

用肥料…1品目）に集約し、価格低減に努めました。営農組合や担い手農家に対して、TACと連携して肥料の大型車直送、農薬の大型規格品の推進によるコスト低減の提案を行いました。また、肥料価格高騰対策として業績還元を活用し、水稲一発肥料の助成を行いました。

ラピタでは、「安全・安心・新鮮」な地元産品の販売拡充に取り組み、魅力ある店舗づくりに努めました。また、組合員の利便性向上のため、ラピタアプリの開発を行いました。

葬祭事業では、コロナ禍で多様化する葬祭ニーズの対応強化と利用者並びに職員の安全・安心の確保対策に努めました。

LPガス事業では、ガス機器のリース普及と他燃料からの燃料転換に取り組みました。保安業務ではガスの集中監視システムの更新を計画的に行い体制強化に努めました。

石油事業では、ラピタと連携した販売促進策やセルフ給油所での洗車に関わる取り組み

みを強化し利用者拡大に結びました。

自動車事業では、コロナ禍による新車の納期遅れの対応として中古車の取り扱いを強化しました。

○販売事業

香港・シンガポール向けに西条柿を継続輸出するとともに

に、香港へは積極的に商品提案を行い、従来からの菌床しいたけ、アスパラガス、きゅうり、青ネギに加え、シャインマスカットや梨も取引を開始し、新たな販売先と取引市場の拡大に取り組みました。

ギフト・直販では出雲地区本部独自のカタログ販売「だんだん出雲ご縁倶楽部」を活用し、

事業別の明細

項目	JAしまね	出雲地区本部
販売品販売高	382億52百万円	83億34百万円
購買品供給高(生産資材)	108億18百万円	17億16百万円
購買品供給高(生活物資)	177億39百万円	118億67百万円
貯金残高	1兆111億69百万円	2,787億11百万円
貸出金残高	2,794億円	702億42百万円
長期共済保有高	3兆457億45百万円	6,941億54百万円

損益の状況

項目	JAしまね	出雲地区本部
事業総利益	249億24百万円	73億91百万円
事業管理費	243億48百万円	71億64百万円
事業利益	5億75百万円	2億26百万円
経常利益	19億1百万円	6億51百万円
当期剰余金	6億75百万円	2億76百万円

出雲に縁がある皆様にご利用いただきました。また、新たな取り組みとして朝食セット等の販売も行い好評を得ました。



○信用事業

営農担当部署と連携し、新規就農者及び意欲ある地域担い手農業者に対する融資推進の強化、コロナ禍の影響を受けた農業者への迅速な資金対応など農業融資の伸長に取り組みました。

また、ローン営業センターを基軸に住宅メーカー等への働きかけも継続的に展開し、住宅ローンをメインとした各種個人

融資の伸長にも取り組みました。

年金受給口座獲得の取り組みについては、コロナ禍の影響により昨年度に続き年金相談会の縮小、年金受給者イベントの中止を余儀なくされましたが、代替としてラピタでの「お買い物値引券」を進呈する等、利用者満足度の向上に努めました。

ATMについても既存ATMの内19台を新たに硬貨対応化とし、更なる利便性向上を図りました。

○共済事業

信共窓口リーダーを中心に各支店において、組合員・利用者から選ばれる支店を目指して「スマイル活動（窓口お知らせ活動）」を実施することで、複合渉外員との連携や支店内連携を強化し、情報提供や提案活動を行いました。

また、大規模自然災害発生に伴い、迅速、丁寧な対応と組合員・利用者の安心と満足の向上に努めるとともに、現場急行対応など、契約者への迅

速・的確な対応により利用者満足度の向上を図りました。

出雲地区本部 令和4年度事業計画

農業従事者の減少やコロナ禍における環境変化に伴い、農業生産基盤の脆弱化が懸念されるなか、持続可能な農業を実現するため、引き続き「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を柱とした自己改革に取り組みます。

人口減少や事業収益の急激な減少に伴い、経営基盤も危機的な状況を迎えており、厳しい収支見通しを踏まえて、中学校区域単位での1拠点を基本とする支店・ふれあい店の店舗再編を進めます。今年度は9月と3月にふれあい店14店の無人化、2月～3月にかけて7支店のランチインブランチ方式※（店舗内店舗）への移行を行います。

厳しい経営環境を踏まえ、店舗再編や事業見直し等によ

る抜本的な経営改革を断行し、「地域農業の振興」と「組合員の生活向上」に貢献できるように強固な経営基盤確立に向けて取り組みます。（※ブランチインブランチ方式…1つの店舗内に複数の支店を集約する店舗形態）

【店舗再編の主なスケジュール】

令和4年3月～6月

各支店などの代表者説明会
令和4年7月

組合員大会にて店舗再編案説明
令和4年9月

ふれあい店無人化

（北浜、佐香、日御碕、古志、田儀、久村、東須佐、窪田）
令和5年3月

ふれあい店無人化

（鳶巣、桧山、伊野、鰐淵、鵜鷺、乙立）
令和5年2月～3月

支店のブランチ化

（上津、高浜、灘分、国富、遙堪、神西、稗原）

○営農・農業振興

新型コロナウイルス感染症



〇くらしの活動
女性部や農青連などの各組織と連携を密にし、JA事業

の影響を克服し、多くの農業者が不安なく生産活動に取り組めるよう各種補助事業の活用支援及び更なる栽培・経営指導の拡充を行い、持続可能な農業の実現を目指します。また、本店・他地区本部と連携し、米穀・柿をはじめとする農産・特産関連施設の広域連携化による施設整備検討に着手します。

取扱計画

項目	JAしまね	出雲地区本部
販売品販売高	381億78百万円	80億89百万円
購買品供給高(生産資材)	126億76百万円	17億96百万円
購買品供給高(生活物資)	186億53百万円	120億52百万円
貯金平均残高	1兆146億30百万円	2,683億11百万円
貸出金平均残高	2,794億26百万円	696億10百万円
長期共済保有高	2兆9,150億円	6,780億円

〇信用事業
TAC等の営農担当部署との連携を強化し、担い手との活動への積極的な参加参加をすすめます。また、コロナ禍に対応した新様式での食農教育や地域活動を実践し、地域活性化やSDGs目標達成に取り組みます。

損益計画

項目	JAしまね	出雲地区本部
事業総利益	236億11百万円	70億2百万円
事業管理費	236億9百万円	69億92百万円
事業利益	2百万円	10百万円
経常利益	13億15百万円	4億3百万円
当期剰余金	6億81百万円	2億55百万円

対話活動を通じて、農業所得増大や生産拡大に向けた資金ニーズの把握に努め、経営支援とともに農業融資の伸長に取り組みます。また、環境変化に伴う急速な非対面化による来店減少や多様化するニーズに対応するため、新ツールの導入や専門性強化を図り、サービスの質向上に努めていきます。さ

らに、将来を見据えた効率的で適正な金融店舗・ATMの再編に取り組みます。

〇共済事業

組合員・利用者のくらしを守るとともに、農業・地域社会への貢献を目指します。新たな生活様式に向けた非対面ツールの活用やニーズに応じた提案活動を実践し、組合員・利用者一人ひとりに寄り添った事業活動を展開します。

〇生活事業

快適で便利な魅力ある店舗を目指し、本店の施設改修を行います。また、組合員・利用者のニーズに適した商品提供、地産地消を基本に「安全・安心・新鮮」にこだわった店舗運営を実施して参ります。

自動車燃料事業では、利用者ニーズに対応した事業提案や保安・運営体制の充実を図るとともに、JAの総合力を活かした組合員・利用者の満足度向上に向け魅力ある事業提供を目指します。

金融共済店舗(支店)・ふれあい店の再編について

～JA自己改革:持続可能な経営基盤の確立をめざして～

JAしまね
出雲地区本部

出雲地区本部では、支店・ふれあい店の再編を行います

第1ステップ

(令和5年3月実施)

**ブランチインブランチ
(店舗内店舗)化**

第2ステップ

(令和7～9年度実施)

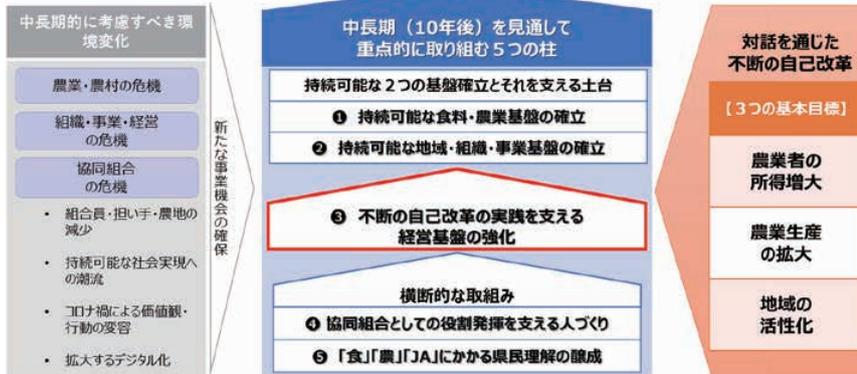
**集約再編による
中学校区につき1支店化**

JAしまねがめざす10年後の姿 実現のために

第3次中期 (令和4～6年度) 経営計画 全体像

JAしまねの
めざす姿
【10年後】

- | | |
|---------------------|--|
| ①持続可能な農業の実現 | ・消費者の信頼や実需者のニーズにこたえ、安心安全な農畜産物を安定的に供給できる持続可能な地域農業を確立し、農業者の所得増大を支える姿 |
| ②豊かでくらしやすい地域共生社会の実現 | ・総合事業を通じて地域の生活インフラ機能の一翼を担い、協同の力で豊かでくらしやすい地域共生社会の実現に貢献している姿 |
| ③協同組合としての役割発揮 | ・次世代や地域共生社会の構成員とともに「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として存立し、役割を発揮している姿 |



JAが目指すべき姿の最大のテーマは「持続可能な農業の実現」

消費者の信頼や実需者のニーズにこたえ、
安心安全な農畜産物を安定的に供給できる持続可能な地域農業を確立し、
農業者の所得増大を支える姿

自己改革の3つの基本目標「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」

- ◆ JAしまねとして支える姿 「農業振興支援事業」 2.5億円の継続実施
- ◆ 出雲地区本部として支える姿 「出雲農業未来の懸け橋事業」の継続実施 (JA7千万円+出雲市6千万円、合計1.3億円)
「地域とも補償」の継続実施 (JA1千万円+出雲市1千万円、合計2千万円)

直面する課題

J Aを取り巻く経営環境は増々厳しくなる中、合併以降、令和3年度決算までは事業利益、当期利益ともに黒字決算を維持してきました。しかし、第3次中期経営計画（令和4～6年度）や、今後10年後の目指すべき姿に向かって改めて収支シミュレーションを行ったところ、赤字となる支店が徐々に増加してくる結果となりました。

【主な要因】

- | | |
|--------------|--|
| 信用事業 | 令和4年度まで農林中金からの奨励金削減、マイナス金利政策による利ざや縮小など、 事業総利益は大幅減少 |
| 共済事業 | 人口減少、少子高齢化など、共済保有高は減少が続き 事業総利益は減少 |
| 購買事業 | 特にラピタ事業は、人口減少、少子高齢化、競合店の出店など売上高減少により 事業総利益は減少 |
| 事業管理費 | <ul style="list-style-type: none"> ● 老朽化施設の修繕、耐用年数到来による施設更新、大型農業施設老朽化対策が必要事業の継続、施設（店舗）を維持すれば人件費削減も限界に ● J Aバンクの方針により、令和6年度に全国の金融店舗へ「営業店システム」の導入が義務化される予定 現在の店舗数で試算すると、出雲地区本部で 約1億円の費用が増加見込み |

再編構想

再編対象支店の考え方

- 店舗別収支シミュレーションにより令和6年度までに赤字となる支店を対象とする
- 令和6年度までに赤字とならない支店であっても、令和7年度以降の収支見通しや将来構想を見据え、中学校区に複数支店がある場合は原則最低1支店を対象とする
（浜山中校区は直近で長浜支店への統合を行っており、今後ステップ2で検討）
- 令和6年度までに赤字となる支店であっても、旧行政区（1中学校区）の支店は、赤字縮小に努め、存置する

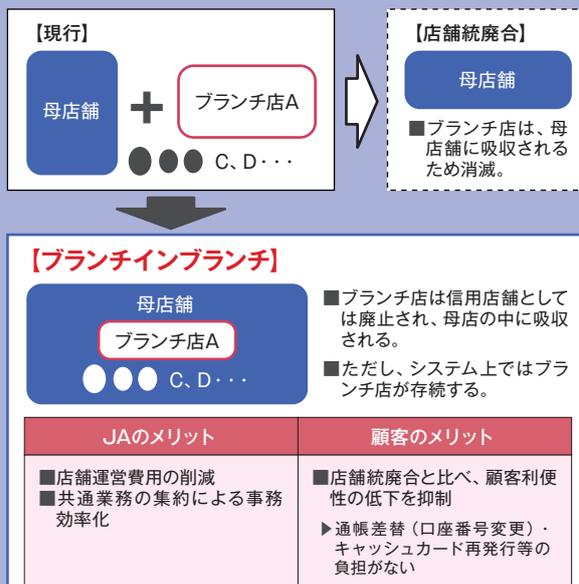
再編方法

- 利用者負担の軽減、店舗運営費用の削減、事務作業の軽減などを考慮し、ブランチインブランチ（店舗内店舗）方式とする
- ブランチ店の組織（総代、J A委員、女性部など）対応は原則、母店対応とする
- ブランチ店には当面（1年程度）1名の職員を配置する
- ブランチ店に配置した硬貨対応ATMは存置する
- 現在のエリア担当複合渉外員により今後も各種相談対応を行う

※ブランチインブランチとは…

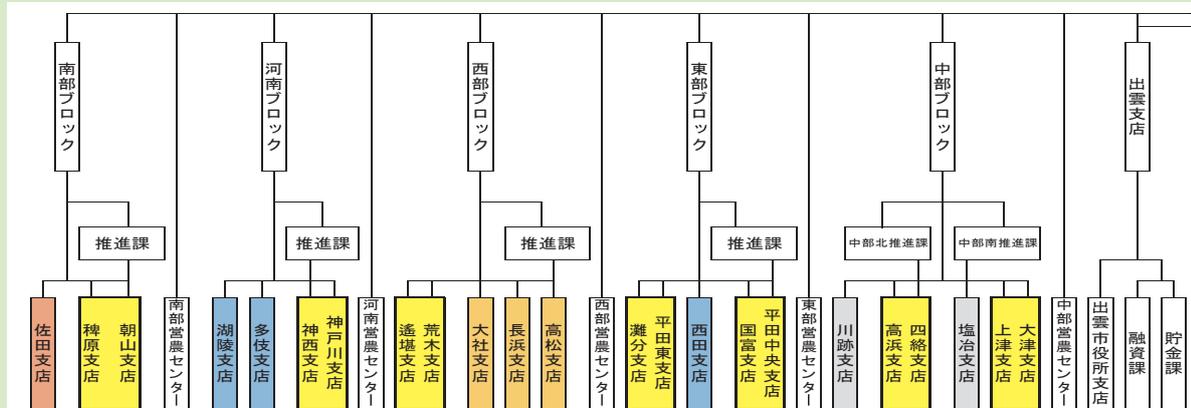
複数の店舗を基幹店舗内に集約し営業することにより、店舗廃止の手続をとらずに拠点を減らす方法

〈ブランチインブランチと店舗統廃合の比較等〉



第1ステップ (令和5年3月実施) 機構図イメージ

7支店の
ブランチインブランチ化



将来の中学校区域
単位1支店構想を見据え、
すべてのブロックにおいて
支店再編を実施する



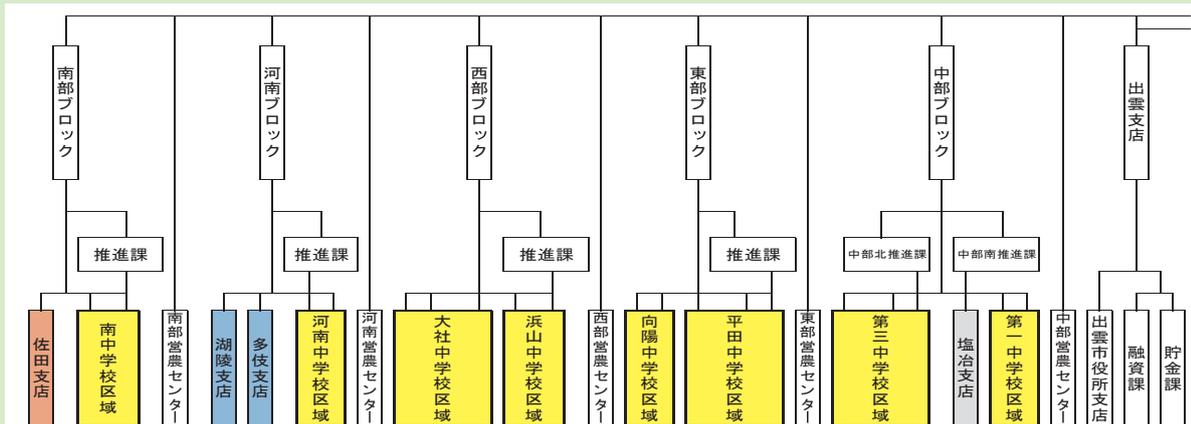
【再編対象支店】

中学校区	ブランチ店	母店	距離	(参考) 遠距離支店
一中	上津支店	⇒ 大津支店	8.2km	朝山 ⇄ 佐田 13.6km
三中	高浜支店	⇒ 四絡支店	2.1km	湖陵 ⇄ 佐田 10.6km
河南中	神西支店	⇒ 神戸川支店	3.5km	湖陵 ⇄ 多伎 6.9km
南中	神原支店	⇒ 朝山支店	5.0km	川跡 ⇄ 国富 6.4km
平田中	国富支店	⇒ 平田中央支店	2.6km	
向陽中	灘分支店	⇒ 平田東支店	5.5km	
大社中	遙堰支店	⇒ 荒木支店	2.6km	

※集約する支店を「母店」、集約される支店を「ブランチ店」という

第2ステップ (令和7~9年度) 機構図イメージ (仮)

中学校区につき
1支店化



5年後、10年後を見据えた店舗再編を行います。

将来の店舗収支予測、隣接店舗との距離、地域特性、広域地域インフラの確保などを考慮し、金融共済店舗の存置基準、再編方針決定します。

もしくは
第一中学校区域
第二中学校区域

再編実現による事業管理費削減効果

- 支店職員の削減、7支店の「営業店システム」導入削減 → 削減効果 ▲約2億円

ふれあい店について

現状の課題

- 業務の縮小にともなう来店者数の減少
- リスク管理上の問題
(内部牽制、防犯対策)
- ふれあい店業務が様々
(女性部などの組織対応有無、留守番アルバイト等)
- 全体の利益確保のための管理費の削減
(人件費、施設費)

今後の体制整備

- ①収支改善対策
事業管理費の削減・抑制 (人件費・施設費の削減)
- ②経営資源の効果的活用
経営資源の再分配による新たな事業方式の確立 (人・金の活用転換)
- ③人員の適正配置と機能強化
母支店等の人員確保と支援体制強化による専門性・機能性の強化
- ④経営の健全性維持と強化
リスク管理態勢の強化及びリスク回避

現在の体制および集約構想

◆無人化 (令和4年9月)

店名	店長	職員区分	労働時間	組織・女性部業務	その他
古志		定時	4.0		
北浜		定時	4.0	○ 母店対応中	
佐香		定時	3.75		
田儀		定時	3.25		
久村		定時	4.0		
日御碕		定時	3.75	○ 母店対応中	
東須佐		定時	3.5		
窪田		定時	3.5		

◆無人化 (令和5年3月)

店名	店長	職員区分	労働時間	組織・女性部業務	その他
乙立	○	定期	7.5	○	のぞみちゃん市場
鳶巣	○	定期	7.5	○	鳶巣市
桧山	○	定期	7.5	○	
伊野	○	定期	7.5	○	
鰐淵	○	定期	7.5	○	
鵜鷺	○	定期	7.5	○	購買店舗

人件費削減効果

●ふれあい店職員の削減 → ▲26百万円 (▲14人)

スケジュール (案)

令和4年	2月	出雲地区本部理事会
	3月	出雲地区本部運営委員会
	3月	ブロック総代代表者説明会
	4月	ブロック別総代説明会
	4月～5月	該当地区説明会 (総代、支店運営委員、女性部など組織代表)
	6月	総代説明会 (JAしまね総代会前の地区本部別説明会)
令和5年	7月	組合員大会
	9月	機構改革 ふれあい店無人化 (8店舗)
	2月	集落座談会
	3月	機構改革 ふれあい店無人化 (6店舗)
	3月	機構改革 プランチ店化 (7支店)

令和7年～9年度		機構改革 中学校区1支店 (14支店)

動画による説明はこちら →



スマート農業 実証見学会

6月15日、佐田地域水田スマート農業実証協議会は佐田町の農事組合法人橋波アグリサンシャインのスマート農業の実証圃で見学会を開催しました。当日は(有)グリーンサポート斐川によるドローンを使った除草剤散布の実演、自動給水システムや除草ロボットの説明が行われました。

同協議会の会長でもあり、農事組合法人橋波アグリサンシャインの大谷健二組合長は「実証試験の初年度が始まった。どれほどの成果が出るかは不明なところだが、水管理についてはスマートフォンですべて操作できるようになり格段に楽になった。初期投資等の課題は点在するが、これからの農業のあり方を考えるいい機会になる」と話しました。出雲市の担当者は「省力化によってできた時間を他の農作業に有意義に使うことができると話しました。」



ドローンによる薬剤散布



自動給水システム



あいがもロボットの实演

同協議会は、出雲市の新出雲農業チャレンジ事業(スマート農業推進事業)を活用し、中山間地域における農業従事者の高齢化、後継者不足、農地の保全管理などの農作業の省力化・効率化の課題の解消に向けた取り組みを実践しています。実証試験の成果を検証し、中山間地域の持続可能な農業の実現に向け情報発信し、スマート農業の普及を図っていきます。

シャインマスカット

出荷始まる

6月15日、荒茅ぶどう集荷所で出雲産のシャインマスカットの出荷が始まり、3名の生産者が約170kgを出荷しました。昨年は好天により出荷が早くなったこともあり、前年よりも4日遅く、例年並みの出荷時期となりました。JAしまね出雲ぶどう部会では177戸、32・7haでシャインマスカットを栽培。収穫は10月まで続き、昨年より13トン多い200トンの収穫を目指しています。検査されたシャインマスカットは県内のほか、関東や関西方面へ出荷されます。

JAしまね出雲ぶどう部会の前島英樹大粒系部長は「糖度18度以上の非常に品質のよいシャインマスカットに仕上がっている。部会全体として、一人一人が出荷規格を意識して栽培することを徹底しています。出荷基準の中でも特に糖度を重点に出荷しているので、どのシャインマスカットを選んでもらうのもおいしい」と話しました。



一つ一つ丁寧に検査

出雲産アムスメロン 初出荷・目合わせ会

JAしまね出雲メロン部会が生産する出雲産アムスメロンの出荷が6月20日に始まり、初出荷に併せて目合わせ会を開きました。今年は天候に恵まれ例年に比べて一日早い出荷となり、生産者1人が合計57ケースを出荷しました。同部会の森山操部会長は「今年産は昼夜の寒暖差が大きく、好天にも恵まれ、甘くおいしく出来上がっている。ぜひ地元産のメロンを食べてほしい」と話しました。

出荷されたメロンは地元の青果市場を中心に、関西方面にも出荷しており、出雲産メロンはネットの張りも良く市場から高い評価を得ています。7月中旬ごろからアールスメロンの出荷が始まる予定で、部会として令和4年度は900万円の販売目標を掲げています。



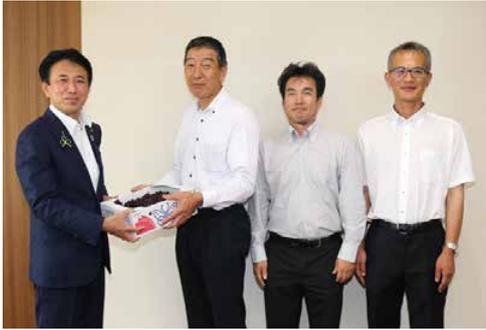
出荷規格の確認をする生産者

出雲市長へデラウェア贈呈

J Aしまね出雲ぶどう部会は6月3日、飯塚俊之出雲市長に島根ぶどうの主力品種「デラウェア」を贈りました。石橋貢部会長ら部会役員とJA職員が出雲市役所を訪れ、2022年産の出荷状況や、加温用燃料・生産資材高騰の影響など、産地の状況を伝えました。

6月2日時点の出荷量は昨年対比87%の175トンですが、昨年は好天続きにより出荷が前倒しとなったため、今年度産は例年並みの出荷量となっています。

石橋貢部会長は「生産者それぞれ自覚を持って出荷しており、満足いく出来上がりになっている。ぜひ食べていただきたい」と話しました。



飯塚市長(左)へ石橋貢部会長らがデラウェアを贈呈

父の日を前に花束贈呈

6月16日、J Aしまね出雲花卉部会の前島信行部会長、J Aしまね斐川花き部会の北村一夫部会長、J Aしまね平田花き部会の福岡雄二部会長が出雲市役所を訪れ、出雲市長へ花束を贈呈しました。生産資材の高騰の影響や生産者の高齢化による影響を説明、販売価格はコロナ禍以前の水準までに徐々に回復しているなど生産現場の現状を伝えました。

今回の贈呈式は、コロナ禍により需要が落ち込む花卉をPRし地元産の花の消費拡大を目的とした「父の日」に花束を贈ろう!!プロジェクトの一環として行われました。花束を受けとった飯塚市長は「たくさん種類のを使って作った花束はきれいで、心が和みます」と謝辞を述べました。



左から前島部会長、北村部会長、飯塚出雲市長、福岡部会長

デラウェア品評会開催

J Aしまね出雲ぶどう部会

J Aしまね出雲ぶどう部会は6月10日、J Aしまね荒木支店で「デラウェア」の品評会を開催しました。一次選考を通過した28点を関係機関の職員や部会の代表者が審査し、最優秀賞1点と優秀賞7点を決定。最優秀賞の出雲市長賞には同部会長浜地区の小村太さんが選ばれました。

品評会は島根ぶどうの品質および商品性の高位平準化、生産振興と栽培農家の意欲向上を目的に毎年開催しています。同部会の石橋貢部会長は「どれも素晴らしい出来栄。受賞したデラウェアを見ることで勉強にもなり、部会員同士で技術の研鑽に努めてほしい」と話しました。

受賞した8点は、6月11日、12日にラピタ本店に展示しました。他の受賞者は次の通りです。

- ▼島根県農業協同組合長賞 長浜地区 大國公之さん▼J Aしまね出雲地区本部長賞 高松地区 井上伸二さん▼島根県農業共済組合長賞 長浜地区 安達純也さん▼(株)島根ワイナリー社長賞 長浜地区 下荒地明さん▼島根県果樹研究同志会長賞 高松地区 田口敏博さん
- ▼J Aしまね出雲ぶどう部会長賞 長浜地区 今岡和宏さん▼J Aしまね出雲ぶどう部会長賞 (STEP) U P 大社地区 手銭賢一さん



着色、粒張りなどを確認する審査員ら

川上好正さんから

アルコール検知器を

寄贈いただきました

J Aしまね出雲地区本部は6月6日、荒茅町の川上好正さんからアルコール検知器計54台を寄贈いただきました。岡田達文前本部長が受け取り「有効に活用させていただきます」とお礼を述べました。

今年の4月に施行された改正道路交通法施行規則では、目視による運転前後の酒気帯びの有無の確認が義務化され、更に10月からはアルコール検知器による確認が必要となります。

寄贈してくださった川上さんは「悲惨な事故を起こさないためにも、事前の検査で安全運転を心がけてほしい」と話しました。

いただいたアルコール検知器は業務における専用車使用の前後の確認に有効に活用させていただきます。



アルコール検知器を寄贈していただいた



いずも和牛改良組合

勝部 勇亮さん (32)

— 繁殖牛 —

経営規模

繁殖牛 (母牛)

36頭

出雲市上島町の勝部勇亮さんは、3つの牛舎で子牛の生産を手掛けています。幼いころから、祖父の仕事を手伝って見ている、興味を持ったことがきっかけで、出雲農林高校の動物科学科から島根県立農林大学校へ進学しました。卒業と同時に、地元の畜産会社へ就職し、28歳の時に祖父から経営を引き継ぎました。現在は牧場を経営する傍ら人工授精師として、多い時には月20件の仕事をこなしています。

生産性の向上を目指して

繁殖牛は1年1産を目標に種付(受精)作業をします。種付けのタイミングを見逃さないように、毎日牛舎に通い一頭ずつ発情期を確認し、定期的に子牛を出産させることで生産性の向上を心がけています。生まれた子牛は、母牛と4カ月までは同じスケールで育てます。子牛への給餌スペースに母牛が入れないように鉄の棒で区切りを設けることで、子牛との事故防止に努めています。

また、昨年新たに導入したスマートフォンでも操作ができるミスト装置は、次亜塩素酸ナトリウムを含むミストを出すことができ、夏場の暑さ対策はもとより、牛の皮膚病の減少、畜舎の消毒の省力化など様々な効果が表れています。

「自分のペースで仕事の配分ができ、自分の性格に合っています。休みが中々取れないこ



とも多いですが、出荷した子牛が高値で取引された時は、自分の仕事を評価してもらえ、やる気が出ます。今後は母牛の頭数を増やして規模拡大を計画しています」と話す勇亮さん。「出荷した子牛のほとんどは出雲市内の肥育農家で出雲和牛として肥育されます。輸入牛肉に比べて価格は高いと思いますが、その分手間暇をかけて大事に育てています。地元で生まれて育った安全・安心の出雲和牛を皆さんに食べてもらいたい」とメッセージをいただきました。

出雲の旬レシピ



和牛の風味を味わえます。
しょうがでさっぱりと仕上げました♪

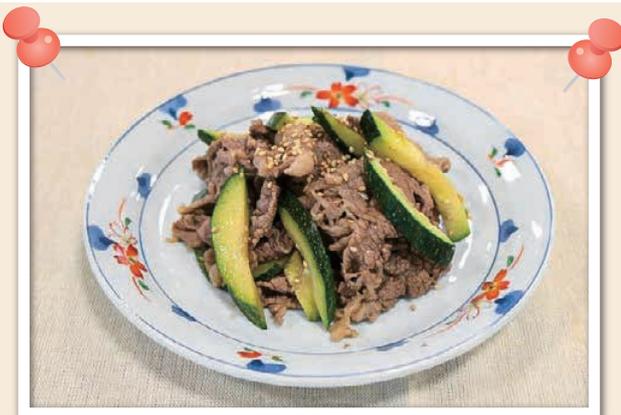
出雲和牛と生姜の炊き込みご飯

〈材料〉[3合分]

- 米…………… 3合
- 出雲和牛(小間切れ) 250g
- 人参…………… 1/4本
- 生姜…………… 45g
- めんつゆ(4倍濃縮) 30cc
- 水…………… 350cc
- 小ネギ

〈作り方〉

- 準備：米は洗っておく。
- ①人参は皮をむいて千切り、生姜は皮をむいてみじん切り、出雲和牛は大きいようであれば食べやすい大きさに切る。
 - ②鍋にA、にんじんを入れ火にかける。沸騰したら、出雲和牛と生姜を入れてさっと火を通し、冷ましておく。
 - ③炊飯器に米と②を入れ、炊飯スタート。
- ※このとき②の煮汁は3合の目盛りまで入れる。
- ④炊き上がったら軽く混ぜて、器に盛り、小ネギを散らして完成♪



ズッキーニから和牛の旨みが
ジュワッと出る一品♪

出雲和牛とズッキーニの炒め物

〈材料〉[2人分]

- 出雲和牛(小間切れ) 200g
- ズッキーニ …… 1本
- サラダ油 …… 適量
- 酒…………… 大さじ1
- しょうゆ …… 大さじ2
- みりん …… 大さじ1
- 砂糖………… 大さじ1/2
- 白いりごま

〈作り方〉

- ①ズッキーニは、食べやすい大きさに切る。
- ②サラダ油をひいたフライパンを中火で熱し、出雲和牛を入れ、色が変わるまで炒める。
- ③②へズッキーニを加え、さらに2～3分火が通るまで炒める。
- ④Aの調味料を入れ、さっと炒め、いりごまをかけて完成♪

今月の食材は

「出雲和牛」

しまね和牛の中でも、JAしまね出雲肥育牛部会員が生産した黒毛和牛の去勢および雌肥育牛のブランド名を「出雲和牛」といいます。

ジューシーでやわらかな肉質、芳醇な甘みと、とろけるような食感。安全性に十分配慮して飼育された信頼のブランドです。生産者の皆さんが愛情込めて育てた「出雲和牛」をぜひご賞味ください。



いつも食材の日

来月8月の食材は

「シャインマスカット」です！

※取り扱う食材は誌面の都合で変更になる場合があります。



サークル紹介

南部地区

「SDGsやってみよう会」

代表 今岡千恵子さん

南部地区女性部の「SDGs やってみよう会」は、現在7人でふれあいの家「わかば」でトマトの加工を行っています。

昨年6月、地区内で生産されているトマトの規格外品や廃棄品を有効活用できる方法について話し合ったことをきっかけにサークルを立ち上げました。規格外品の総量は生食するには時間の限界があるため、何かいい保存方法がないか検討し、ケチャップを作ることになりました。使用したトマトは加工用ではないため、調味料の配合も試行錯誤を重ね完成したケチャップは、子どもやお母さん方に人気の一品となり、次世代の方も教室に参加してくれるようになりました。世代をこえた交流が生まれました。

また、空き家の畑に放置されたままの甘夏柑を加工して美化



ウォークの参加者へ無料配布や、収穫しきれず放置された梅の実をボランティアで収穫・ワイン煮やジャムなどに加工しているところです。今後は養蜂農家で廃棄される「みつろう」を使って「みつろうラップ」や「ろうそく」作りを行う予定です。

私達の生活や女性部活動はSDGsそのものですが、グループ名に「SDGs」を入れることで、17の持続可能な開発目標へのメンバーの意識が高まりました。今後は「もったいない精神」を大切に、メンバーを増やし、地域の子どもたちにも「SDGs」について考えてもらえる機会を設けることを目標に活動してまいります。

活動紹介

J A かがやく 女性交流会 & 家の光大会

家の光大会

女性部東部地区は6月10日、JA平田中央支店大会議室で通常総会に併せ「JAかがやく女性交流会&家の光大会」を開催しました。昨年に続き、コロナ感染対策の観点から人数を制限しての開催となりました。

出雲警察署平田広域交番の野津洋一所長を講師に迎え「特殊詐欺に気をつけて!」と題した研修会の後は、西田支部のすみれ教室による銭太鼓の披露が行われました。コロナ禍でしばらく練習を控えていたとは思えないほどの息の



すみれ教室による銭太鼓の披露



展示された作品



生演奏によるライブ

合った発表は会場を盛り上げました。

また、「Bitter sugar」による

昭和歌謡中心のバンドの生演奏では会場全体が懐かしい雰囲気包まれ、「青春時代を思いだし、楽しかった」などの感想が上がり、穏やかなひと時が流れました。このほか、作品展示コーナーには手芸作品などの力作が多数並び、加工作品・特産品の販売コーナーも設けられました。

山形由紀地区長は冒頭のあいさつで「昨年のお協力をいただきありがとうございます、沢山のご協力をいただきました。東部地区が一番多い枚数を作成し、東部の団結力の強さが数字に表れたと思います。一日も早くコロナが収まり、通常の活動ができることを祈ります」と話しました。



いずもJA女子大学

6月講座

「自分だけの女神を描こう」

～イラスト講座&卒業制作～

JAしまね出雲地区本部は6月8日、イラストレーターの中尾早乙里さんを講師に迎え、6月講座「自分だけの女神を描こう」イラスト講座&卒業制作」を開催しました。はじめに中尾さんのイラストレーターになるまでの道のりを描いたDVDを鑑賞。その後のイラスト制作では、8人の神様から自分に合ったモチーフを選び、台紙に色鉛筆や絵の具、シールやマニキュア等を使って女子大での学びや仲間との思い出を描きました。今回の講座は、2年間の学生生活最後の講座であり、完成した作品は額縁に入れ、卒業式で飾る予定です。

参加した女子大生は「最初は絵を描くことに不安があったが、やってみるととても楽しかった」「できないと思いついていたことをやってみる大切さを知った」などと感想を話しました。



熱心に取り組む学生

やすらぎ会
第7回総会開催

JAしまね出雲やすらぎ会は、6月15日にラピタウエディングパレスで第7回総会を開きました。昨年に引き続きコロナ感染対策を図り会員、関係者54人が出席。令和3年度の活動報告および、令和4年度の活動計画が承認されました。

令和4年度は、やすらぎ会員を対象としたブロック単位でふれあい福祉課主催のミニディ「いきいきサロン」を開催し、会員同士の交流の場づくり、組織の活性化につながる新しい取り組みを計画しています。

また、JAしまね出雲女性部と共催で、新聞紙で作ったゴミ袋の施設へ奇贈、フードドライブに取組み、社会福祉協議会を通じて子ども食堂等を支援する活動を行うことを確認しました。

片伊勢会長は「やすらぎ会は、皆さんの協力のおかげで30年を迎えることができます。これからは高齢者福祉のみならず、地域全体で助け合い支え合い活動を行っていきましょう」とあいさつしました。



あいさつする片伊勢会長

料理教室から託児まで幅広く活躍!!

JAしまね出雲地区本部 生活文化協力員



JAしまね出雲地区本部では、組合員の皆さんの生活文化活動をサポートするとともに、JA組織活動の活性化を図ることを目的に、生活文化協力員を管内の各ブロックに配置しています。

生活文化協力員は、定期的で開催する会議・研修会において、JA生活指導員と連携をとりながら、各地区で行う料理教室や加工品作りなどの講師として、JA女性部のグループ活動に参加しています。また、農業まつりやJA女子大学、健康診断等にも積極的に協力するなど幅広い分野で活動しています。

今年度は各ブロックから13人を選任しました。今後も生活文化活動がより充実したものとなるよう活動していきます。



令和4年度JAしまね出雲地区本部生活文化協力員

(敬称略)

主活動ブロック	氏名	主活動ブロック	氏名	主活動ブロック	氏名
中部ブロック	園山 紀子	西部ブロック	園山 幸美	河南ブロック	森山都代子
	長谷川博美		角森 希美		石飛 通子
東部ブロック	山形 由紀		横田 紀子		高山 恭子
	山崎 智子	南部ブロック	飯塚 恵理		
	赤木 孝子		曾田 美子		





出雲市農政会議だより

令和4年7月16日

発行元：出雲市農政会議(出雲市今市町106番地1 JALしまね出雲地区本部 営農企画課内)
発行責任者：事務局長 山根 康太

No.100

【活動内容報告】

○第18回通常総会開催

6月5日(日)ラピタ本店『鳳凰の間』において第18回出雲市農政会議通常総会を開催しました。

白根会長は開会にあたり、「コロナ禍によって米価が下落する中、ウクライナ危機や円安など国際情勢を原因とする生産資材価格の高騰が追い打ちをかけ、農家経営はひっ迫しており、農業者の課題解決に向けて取り組まなければならない。また、令和3年7月豪雨による農地等の被害に対しては、要請活動を展開した結果が実を結び、災害復旧事業の実施に繋げることができた。」と、述べられました。

総会には、舞立昇治参議院議員、高見康裕衆議院議員、飯塚俊之出雲市長をはじめ推薦県議会議員や出雲市農政議員連盟、JA関係者等多数の来賓にご臨席賜わる中、農政会議代議員等総勢112名の参加があり、4つの議案について審議され承認されました。

また、全会一致で「生産資材価格高騰対策に関する特別決議」が採択され、昨今の肥料、飼料をはじめとする生産資材価格の高騰に対して、一層かつ速やかな実効性のある対策が講じられるよう、農政会議を挙げて運動を展開することが確認されました。



舞立参議院議員



高見衆議院議員



飯塚市長



白根会長

「有線放送事業」設備撤去のお知らせ

日頃より、JA事業をご利用いただき誠にありがとうございます。

本年度(第2期)「有線放送事業」設備撤去についてお知らせいたします。

令和4年度	令和5年度以降
高松、荒茅・園、 大津、神門	今市・四絡、古志・塩冶、 佐田、朝山、稗原

※諸事情により変更となる場合も
ございますのでご了承ください。

対象設備 宅内スピーカー、電柱、ケーブル、引込線

工事が近づいた対象地区の有線放送利用者様、電柱等敷地の地権者様には随時ご案内文書を送付させていただきます。工事の際は皆様にはご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ先 JALしまね出雲地区本部 情報システム課 TEL0853-21-6039



現地集合型農業体験スクール

あぐりキッズスクール

参加者募集!

J Aしまね出雲地区本部では、農作業体験や収穫体験を学んでいただく「あぐりキッズスクール」を企画しました。実際の畑で出雲の特産品を栽培しましょう！施設見学もあるよ♪

開催日程 8月7日、9月11日、10月9日、11月13日 **場所** 出雲市荒茅町の圃場 他
いずれも日曜日開催 (午前9時から12時まで)

開催内容

1
特産品栽培

その1 そば

そばの播種(畑にまく)から収穫、そば打ち体験もするよ

その2 ブロccoli

かあちゃんブロッコリーの名前で有名な特産品

2
施設見学

その1 菌床製造工場

その2 パッキングセンター

その3 出雲vege 出雲やさい新話ファーム

参加資格

出雲市内(斐川町除く)の小学生
4~6年生のみなさん

募集定員

20名(先着順)

参加費

1,500円/人

応募方法

J Aしまね出雲地区本部ホームページ
の応募フォームからお申込みください。

応募締切: 7月22日(金)



お問い合わせ先 JAしまね出雲地区本部ふれあい福祉課(担当 坂根) TEL 0853-21-6013 FAX 0853-21-6015

農業用廃棄ビニール・プラスチック類の回収についてのお知らせ

農業用廃棄ビニール・プラスチック類の回収を、下記の回収処分計画表の通り行います。持ち込みを希望される方は、「委任状」・「産業廃棄物運搬車表示」が必要となりますので、最寄りの各営農センターまでお申し込みください。なお、「産業廃棄物運搬車表示」は紙に手書きしたものでかまいませんが、マグネットシートの表示板をグリーンセンターにおいて販売しておりますので、ご利用ください。

1.回収処分計画表

地区名	回収場所	回収日	回収時間
平田・灘分・久多美・桧山・佐香	平田カントリー	7月26日(火)	午前9時~11時
国富・西田・鰯淵・北浜・平田東・伊野			午後1時~3時
神西・神戸川・湖陵・多伎	西部カントリー	8月1日(月)	午前9時~11時
高松・長浜・大社・荒木・遙堪	西部カントリー	8月2日(火)	午前9時~11時
上津・大津・塩冶・四絡 今市・高浜・川跡・鳶巣 朝山・乙立・稗原・佐田	西部カントリー	8月4日(木)	午前9時~11時

2.回収対象

被覆資材(ビニール・農ポリ)・ハウス資材(マイカー線・パッカー・寒冷紗・タイベック)・灌水チューブ・肥料袋・ビニールマルチ、育苗箱、波板等

**持込不可
の物**

- ※農薬の容器や空袋、紙(ダンボール箱等)
- ※トンネル支柱・イボ竹等鉄にビニールコーティングしてある物
- ※金属類・灯油用ポリタンク
- ※ビニールシート、パッカー等についている金属部分ははずしてお持ちください。

3.処理料金

料 金: kg当たり 税込 69円
代金決済 代金決済: 営農口座より 令和4年9月26日(月)引き落とし

※ご不明な点がございましたら生産資材課・各営農センターへご連絡ください。

- 生産資材課 ☎21-6047
- 中部営農センター ☎31-9055
- 西部営農センター ☎53-2168
- 河南営農センター ☎43-7007
- 南部営農センター ☎84-0213
- 東部営農センター ☎62-9059



出雲市武志町

つきもり ひろき
 築森 寛喜さん (81歳)

グラウンド・ゴルフに
 魅せられて

武志町に住む築森さん。趣味はグラウンド・ゴルフに家庭菜園、マジック(手品)、川柳など多岐にわたり、過去には日本グラウンド・ゴルフ協会の標語・川柳コンクールで入賞したこともあります。

体力づくりで始めたグラウンド・ゴルフは、既に30年が過ぎ、現在も週に3日、地元の河川敷等で練習をしています。各種大会での入賞、全国大会へ出場したときは長年続けてきた練習の成果を実感することができ感無量になります。

現在、1級普及指導員の資格を持ち、島根県グラウンド・ゴルフのプレー委員長や出雲支部グラウンド・ゴルフ協会の会長を務めています。また、ボランティア活動にも積極的に参加し、主に平田で行われている野鳥観察の観察員として参加しています。

「年齢や性別を問わずプレーできるグラウンド・ゴルフは、スポーツとしての楽しみと同時に、仲間との交流を図ることができます。また、健康寿命の延伸につながる可能性の高いスポーツであり、明るく豊かな生活を送る上で大切な役割を果たしていると思います。グラウンド・ゴルフがより一層多くの人に親しんでもらえるよう願っています」と抱負を語る築森さんでした。



健康ライフかわら版

野外活動や草刈りなどをする時には、マダニに気をつけましょう!

野山や畑にいるマダニに咬まれることで感染する病気に日本紅斑熱があります。島根県では北山山系に発生が多いと言われてきましたが近年は出雲市内全域で確認されています。

日本紅斑熱の発生状況について

島根県内では、令和3年時点で36名の患者を確認しており、出雲市内では16名の患者を確認しています。いずれの患者数も近年では過去最多の感染者数となっています。

症状について

マダニに咬まれてから2日~1週間くらいで症状が出ます。症状は発熱(高熱)、頭痛、関節痛などを伴い、発疹が認められます。重症化すると死亡することもあります。

感染予防のためには?

野山や畑へ出かけるときや草刈りをする時には、次のことに気をつけましょう。

★マダニに咬まれないための対策★

- ① 素肌を出さないように、長袖、長ズボンをはく
- ② 虫よけスプレー(忌避剤)を活用する
- ③ 地面に直接寝転んだり、腰を下ろしたりしないよう敷物を敷く
- ④ 帰宅した後はすぐに入浴し、身体をよく洗い新しい服に着替える

子どもの感染も確認されています
 大人だけでなく、子どもへの対策も忘れずにしましょう

マダニに咬まれてしまったら

マダニが皮膚に咬みついたら取れないときは、医療機関(皮膚科・外科など)で処置してもらいましょう。無理に取るうとするとマダニの一部が皮膚内に残ってしまうことがあります。

マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意し、早めに医療機関へ電話予約・受診をしましょう。



お問い合わせ先 出雲保健所 衛生指導課 TEL 21-1185

おたより広場

読者のみなさんからの投稿コーナーです。最近あった「楽しかったこと」「最近思うこと」「感動したこと」…ぜひお聞かせください。写真や絵手紙・イラストも大募集!!

〒693-8585
出雲市今市町106番地1
JAしまね出雲地区本部内
「広報誌JAしまねびより」編集係 宛
✉メールでの投稿も大歓迎!
izumokouhou.izm@ja-shimane.gr.jp

●今回は「島根ぶどう」についてのページがあり、農林高校卒業の私には懐かしく拝見しました。テストにも出ました(ジベレリン処理について)。これからぶどうがおいしい季節です、県外の親戚に送る準備しながらは・・・デラウェアの2層ゼリーはこの夏に作りたい一品です。

(武志町 K・Kさん)

JA:旬レシピを参考にさせていただきありがとうございます。デラウェアの2層ゼリーは見た目もきれいでお子さんにおすすめてですよ。また、ソースは自然の甘さで肉にも魚にも

相性抜群ですのでこちらも作ってみてください☆

●天候にも恵まれ6月初めから家庭菜園も絶好調!まずはズッキーニきゅうり、今はなすびにピーマンやトマトが収穫の時期に入りました。残るはゴーヤ。昨年は大豊作でしたので今年も期待しています。

(大津町 S・Kさん)

JA:夏野菜が収穫の時期を迎えていますね。たくさん種類を育てておられてすごい一言です。夏野菜カレーにゴーヤチャンプル、暑さを吹き飛ばすレシピお待ちしております!

●「健康散歩」コーナーの足に優しい靴選びの記事を読んで、靴をきちんと選ぶことで元気な体の助けとなることがよくわかりました。立ち仕事なのでぜひ靴選びのポイントも参考にしようと思います。

(今市町 J・Mさん)

JA:足に合う靴を選ぶことは大切です。立ち仕事は特にあってない

靴を履くと疲れやすいみたいですので、足に負担がない靴を選んで元気に仕事を頑張りたいです!

写真紹介コーナー



ラピタウエディングパレスの生け垣にいるカモの親子の写真を投稿していただいたのは稗原町のC・Kさん。慌てて携帯でパシャリと。連絡をいただき早速現場を見に行きました。巢は確認できましたが残念ながら親子の姿はありませんでした。元気に育つてくれることを祈ります☆

編集後記

梅雨も明けて毎日暑い日が続きますね。さて、6月上旬に湖陵町の大山農園で毎年行われている市内の保育園児によるさつまいもの苗植えの取材に行ってきた。6月6日には地元のハマナス保育園児23人が「おいしくなれ、おおきくなれ」と呼びかけながら植える姿はとても可愛らしく感じ、ほっこりしました。

農園を管理する鎌田さんは「食と農の体験を通じ伝統ある地元産品のさつまいも栽培のおもしろさを伝えたい。地元でできたさつまいもを食べてもらうことで地元の特産に興味を持ってもらいたい」と話してくださいました。

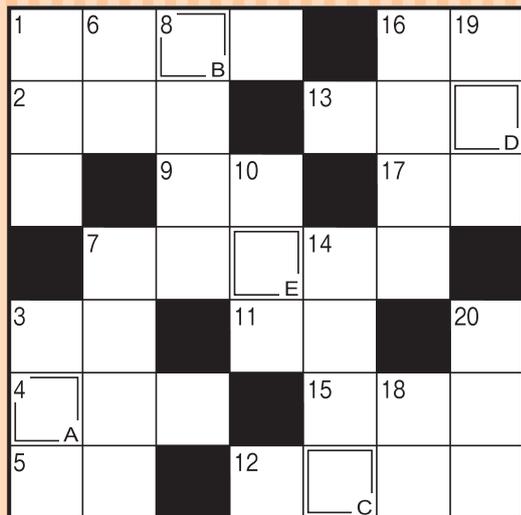


CrossWord Puzzle

クロスワードパズル

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

出題●ニコリ



答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

タテのカギ

- ①東海道新幹線の愛称の一つ
- ③天気予報で使う単位はヘクトパスカル
- ⑥食事の——にしっかりと手を洗った
- ⑦ゾウガメのように水の少ない所でも暮らせる亀
- ⑧綿あめの芯棒に使うことも
- ⑩おけ屋敷で——満点の演出を楽しんだ
- ⑭胸びれを広げて滑空します
- ⑯東北三大夏祭りの一つ、秋田——祭り
- ⑰固体と液体を分ける方法の一つ
- ⑱マンションの賃貸情報に載っています
- ⑳「姿勢が悪いよ」と言われやすい姿勢

ヨコのカギ

- ①夏に咲く黄色い花
- ②行きは良い良い——は怖い
- ③レタスやゴボウは——科の植物です
- ④すし屋の符丁でお茶のこと
- ⑤能あるタカは隠してる？
- ⑦北海道の北部にある島。昆布やウニが名産品です
- ⑨停留所に止まります
- ⑪漢字などの横に小さな文字で振ります
- ⑫海からそよそよと——が吹いてきた
- ⑬英国の通貨単位です
- ⑮魚の下ごしらえをするときに取ることもあります
- ⑰草を刈るときに使います
- ⑱翼を持っています



応募要項



●応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。

●賞品

正解者の中から抽選で40名（J Aしまね全体）の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

●当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

●宛先・締切

〒693-8585 出雲市今市町106-1

J Aしまね 出雲地区本部 ふれあい福祉課 「クイズ」係
2022年8月5日（金）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆ 「アブラゼミ」



俳句の広場

選句者「白魚火」編集長・副主任
安食彰彦先生

最優秀賞

真孤踏む神官の列厳かに

出雲市 森脇 英徳様

優秀賞

ほたる火の神代の闇に明滅す

出雲市 藤江 堯様

緑蔭の少女の服は牡丹色

安来市 斎藤美重子様

外つ国の人形も入れ雛飾る

浜田市 日原 紀子様

佳作

夏休肩になじんだランドセル
早苗田に山影映し暮れてゆく
平穏なひと日夕餉に豆の飯
朝採れの玉葱水のしたたりし
花吹雪どの児も走る下校坂

松江市 山根 茂雄様
出雲市 石橋 厚様
浜田市 三沢 孝子様
出雲市 北村 功様
邑南町 三宅伊知枝様

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください！

「家の光」8月号定価 629円
ご購入は、お近くのJAへお問合せください。



J Aしまねびより、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）8月号は川柳を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

応募方法

俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。
※応募作品の一切の権利は、J Aしまねに帰属するものとします。
※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

あて先

〒690-0887 松江市殿町19-1
J Aしまね ふれあい福祉課
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」
FAX：0852-67-7708
Eメール：fureai.hon@ja-shimane.gr.jp



最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。

JALで行く

期間限定(出雲—新千歳 約2時間)

添乗員同行
バスガイド同行

直行便で行く

夏の北海道ぐるっと一周

7日間

登別温泉 湯の川温泉 札幌 稚内 知床ウトロ温泉 十勝川温泉

旅行期間 令和4年

8月22日(月)~28日(日)

旅行代金 (出雲縁結び空港起点・大人お一人様2名1室利用・税込)

228,000円



掲載ツアーは、この広告でのお申し込みを受け付けておりません。
※詳しい旅行については、専用パンフレットをご用意しております。お気軽に下記販売店へご請求ください。

TOUR 株式会社 農協観光 [詳しくはこちら](#)

山陰支店 TEL 0852-26-2600 JAしまね旅行センター本部 TEL 0853-25-8907



JALしまね 総合ポイントカード「おさいふカード」会員様へ

優待割引のお知らせ

JALしまね × Paris Miki PARIS MIKI

メガネ一式 10%OFF!! 補聴器 5%OFF!!

ご利用の際には、提携店舗にておさいふカードをご提示ください。

提携店舗 島根県内パリミキ全店 ※他の割引が併用できない商品・サービスが一部ございます。詳しくは係員にお尋ねください。

お問合せ JALしまね 本店経済部経済課 [TEL] 0853-25-8912

LAPITA × MARIE 香しきヒロインたち yashiro マリエ・やしろ

あなたの夢が叶う結婚式
ラピタにて挙式・披露宴・パーティーのご相談・ヴィラ・ノッツェでのウエディング承ります

婚礼施設
 ヴィラ・ノッツェ コルティエーレ 出雲
 ヴィラ・ノツェ レガール 松江
 コリドールコート
 レストラン&ウエディング LAUT




ラピタ・マリエやしろ業務提携記念キャンペーン

おさいふカードポイント 5,000 ポイントプレゼント

期間 令和4年4月1日から 令和5年3月31日

対象 キャンペーン期間中にラピタ・マリエやしろ業務提携企画をご予約いただき、披露宴を行われた方
 (挙式・披露宴の日は令和4年4月1日から令和6年3月31日まで)

ご予約・お問合せ

LAPITA 本店
 〒693-8587 出雲市今市町87番地
 TEL/0853-21-6063 FAX/0853-21-6637

プライダルフラザ ラピレ 出雲サロン
 〒693-0054 出雲市浜町327-1
 定休日/火曜・水曜 営業時間/10:00~18:00

ラブレ LINEでのお問合せ



フィットネスジムFIT365

会員募集中!

月額 **2,980**円から通える
 (税込3,278円)

フィットネスジム

365日年中無休
24時間営業

※ご入会時に会員カード発行料が5,000円(税込5,500円)がかかります。
 ※セキュリティ管理/施設メンテナンス料年額4,980円(税込5,478円)がご利用開始月を初月として3ヶ月目にかかります。



フィットネスジム FIT365
 ラピタ出雲
 お問い合わせ: TEL0570-030-365
 (平日 10:00~20:00)



2022 夏

盆提灯

展示即売会

開催中

8/11 (木・祝) まで

時間: 10時~17時まで
 場所: ラピタ本店2階 催事場

おさいふカードにポイント加点いたします

月・木曜日は休店日
 (但し、ポイント5倍デーの5のつく日及び8月は休まず営業いたします)






もしもの為に備えて安心



防災対策用品

組合員のみなさまへ



出雲地方では昨年、記録的な大雨に見舞われ、住宅や田畑の浸水や交通機関の運休、道路の通行止めや土砂災害など甚大な被害が発生しました。
 今後も台風や大雨をはじめとする気象や地震により災害が発生し、避難が必要な場面も予想されます。
 そのため、JAしまねラピタでは組合員様の暮らしを守る一貫として、避難や防災に必要なアイテムをご用意いたしました。
 この機会にぜひご注文頂きますようお願い申し上げます。

「災害時本当に欲しいもの」をセットに



アイリスオーヤマの防災セットは2005年の発売以来、安心の品質と充実のセット内容で、数多くのお客様に選ばれています。

食事	照明	寝具・防寒
ラップ フラカップ 5個 ウォータータンク5L 割りばし 3個 スプーン・フォークセット 2セット 紙皿 3枚	懐中電灯ランタン (乾電池別売) (品3-2本使用)	エア枕 2枚 アルミブランケット 2枚
移動	衛生用品	
レインポンチョ 2枚 ラバー手袋 2セット	携帯トイレ 3個 × 2セット 絆創膏 歯ブラシ 3本 × 2セット ティッシュ	
その他		
タオル 2枚 ポリ袋 EVAサンダル 2足 筆記用具セット 防水スマホ袋 2枚 ホイッスル 2個 カッターナイフ ZWAYドライバ		

経験したから、提案できる。

防災士 監修



震災時に「本当に必要だと感じたもの」を経験を基に厳選。

より使いやすく、より安心感をお届けできるセットにしました。

アイリスオーヤマ
 防災セット 2人用35点
 6,800円(税抜)
 (税込7,480円)

お問い合わせ



ラピタ本店 2階生活課

TEL : 0853-21-6058
 FAX : 0853-21-6084

本誌は地球環境に優しい植物油インキを使用しております。



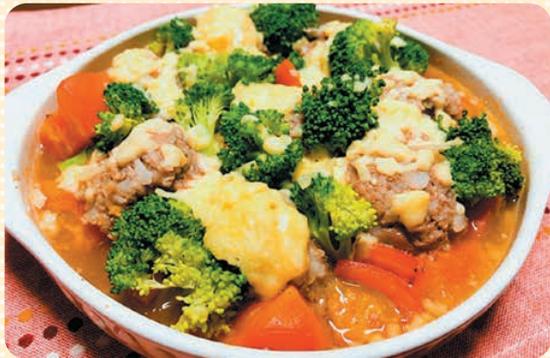
JAしまね
公式ホームページ

JAしまね

検索



* 電子レンジで簡単煮込みハンバーグ風



コメント

- ・火を使わず電子レンジだけで完成する料理は、暑い季節にピッタリ!
- ・トマトに含まれるリコピンは、生で食べるよりも加工した方がグッと吸収率がアップします。
- ・50度のお湯は、沸騰したお湯に同量の水を加えると50度になります。(給湯器のお湯はおおむね50度に設定されています)

材料 (4人分)

合挽肉…………… 300g
 玉ねぎ…………… 1/2個
 A パン粉…大さじ6(約20g)
 酒……………大さじ2
 塩……………小さじ1/2
 こしょう……………少々
 トマト……………2個(約300g)
 B しょうゆ……………小さじ1
 塩こしょう……………少々
 砂糖……………小さじ1
 ピザ用チーズ……………80g
 ブロccoli……………1/2株

アレンジ

- ・野菜は茄子、ズッキーニ、南瓜、ピーマン、オクラ、ゴーヤ、きゅうり等なんでもOK!
- ・残った場合は、ご飯と混ぜてトマトライスに!茹でたスパゲティと混ぜればミートスパゲティに!

作り方

- ①合挽肉は50度のお湯につけ(30秒~1分間)、余分な脂とアクを取り、ザルにあげて水気をきる。
- ②玉ねぎは粗みじん切りにする。
- ③トマトはヘタを取り除き、2~3cm幅に大きく切る。
- ④ブロッコリーは小房に分けて、5mm幅にスライスする。
- ⑤ボウルに①②とAを入れてよく練り混ぜる。
- ⑥耐熱皿にトマトとBを入れて混ぜ合わせ、その上に⑤を好みの大きさに丸めてのせ、チーズをかける。
- ⑦⑥の隙間にブロッコリーを置き、ラップをふんわりとかけ、レンジ(600w)で8~9分間加熱したら完成。

材料 (4人分)

トマト……………3個(500g)
 きゅうり……………1本
 ツナ油漬…1缶(140g)
 青じそ……………10枚
 A しょうゆ……………大さじ2
 酢……………大さじ2
 砂糖……………小さじ1
 ごま油……………小さじ2
 にんにく(すりおろし)…小さじ1
 こしょう……………少々

作り方

- ①トマトはヘタを取り除き、2~3cmの角切りにする。
- ②きゅうりは3mmの厚さに切り、軽く塩を振ってしばらく置き、水気を軽く絞る。
- ③ツナは油を軽くきり、青じそはせん切りにする。
- ④大きめのボウルにAを混ぜ合わせ、準備した①②③(青じそは半分残しておく)を加え、全体に味がなじむように和える。
- ⑤器に盛り、残しておいた青じそをのせたら完成。

コメント

- ・真っ赤に熟れたトマトは、低カロリーで栄養が豊富な夏の健康野菜です。
- ・ツナを加えることで栄養バランスもアップ!青じその爽やかな風味も楽しめます。

アレンジ

- ・そうめんにかければ、カッペリーニ風に!
- ・うどんやそばにかければ、夏向きさっぱりとした麺料理にもなります。
- ・きゅうりを茄子やズッキーニ、スライス玉ねぎに替えてもOK!

* 夏野菜のツナ和え



JA島根厚生連

健康散歩

夏本番となり、日焼けや紫外線をより一層感じる季節になりました。きちんと対策をしないと、身体のトラブルにつながることがあります。

紫外線を長期間浴びると光老化という現象が起き、しわやシミができます。光老化は、紫外線の強さと浴びた時間に比例します。また、年齢を重ねた肌ほど抵抗力が弱くなり、影響を受けやすくなります。しわやシミ以外にも、紫外線を浴びることで皮膚がんや白内障の発症リスクを高めるともわれており、身体に様々な影響を及ぼします。

紫外線の強さは、季節によって変化します。6~8月が最も強く、7月にピークを迎えます。冬は夏に比べて紫外線量は減るとはいえ、全くないとは言えないため、注意が必要です。また、1日の紫外線の約60%が午前10時~午後2時に集中しているといわれています。外出するときは、紫外線の多い時間帯を避けることも対策の一つですが、紫外線の多い時間帯に外出するのであれば、紫外線から身体を守るために肌の露出の少ない服装やつばの広い帽子、日傘などを活用しましょう。最近では、紫外線カット加工のされている服もあるので、そのような服を選ぶようにす

紫外線対策できていますか?

るとよいでしょう。さらに、日焼け止めを塗って、肌を守ることも効果的です。塗りむらがないように、しっかり鏡を見ながら塗りましょう。日焼け止めは、こすると効果が減退してしまうので、重ね塗りや2~3時間ごとに塗り直すことをお勧めします。さらに、目を守るサングラスは、レンズの色が濃い瞳孔が開き紫外線が入りやすくなってしまいますので、色の薄いものが好ましいとされています。曇りの日も、紫外線は雲を通り抜けてしまうので、油断せずにしっかりと対策をしましょう。



紫外線が及ぼす身体への影響は、長い時間をかけて進行するものです。日々の対策を続けることでその後の紫外線トラブルを軽減することができるので、ぜひ実践してみてください。

【編集後記】 本格的な暑さがやってきました。皆さん、暑さ対策とっていますか?暑がりの私は、あらゆる冷却グッズを駆使して今年の夏を乗り切ろうと考えています。今月の特集では、そんな暑さにも負けず、全共に向け取り組む大学生・高校生の皆さんを紹介しています。取材時は県代表牛最終選抜会の1カ月前。目標をもって頑張る姿は輝いていて、とてもパワーをいただきました!!この場をお借りしてエールを送らせてください!みんな頑張れ〜(笑)(安)